

令和六年度花卷市民芸術祭

第十八回文芸大会作品集

児童・生徒の部

花卷市民芸術祭実行委員会

宿題	「 話 」	藤川 忠巳 選			
—中学校—	特選	西南中学校	3 年	菊池 愛依	
	秀逸	西南中学校	1 年	佐藤 碧衣	
	佳作	西南中学校	3 年	藤原 朱理	
	佳作	西南中学校	3 年	藤原 彩花	
	佳作	西南中学校	3 年	照井 日葉	

<詩>

小・中学生の部

—中学校—	奨励賞	「 土 」	大迫中学校	1 年	阿部 圭吾
	奨励賞	「 蜘蛛 」	大迫中学校	1 年	丸田 和
	奨励賞	「はちわれねこ」	花巻中学校	1 年	成田 姫星
	奨励賞	「新しい第一歩」	西南中学校	3 年	澤田 佳音
	奨励賞	「支え合い」	湯本中学校	1 年	伊藤 愛華
	奨励賞	「ゆうれい」	湯本中学校	1 年	高木龍之介
	奨励賞	「 夜 」	湯本中学校	1 年	長澤 絆吏
	奨励賞	「辛いときには」	湯本中学校	1 年	檜山愛衣莉

目次

一、短歌

小学生

奨励賞
参加作品

P P
2 1
{ }

一、短歌

中学生

奨励賞
参加作品

P P
4 3
{ }

一、俳句

中学生

奨励賞・入選
参加作品

P P
21 17
{ }

一、川柳

中学生

特選・秀逸・佳作
参加作品

P P
37 36
{ }

一、詩

中学生

獎勵賞
参加作品

P P
46 42
} }

令和六年度花巻市民芸術祭第十八回文芸大会

「短歌」

小学生の部

石黒 和夫 選

多田 聡子 選

奨励賞

たのしみはベニーランドで遊んだり遊覧船で島を見た時

笹間第一小学校 六年 八重樫 祐

たのしみはバスの車内で友達とこれからの予定話し合う時

笹間第一小学校 六年 荒山 佳穂

たのしみはあたたかすぎるふとんの中うずくまって二度寝する時

笹間第一小学校 六年 高橋 麗湊

参加作品 小学生の部

たのしみはベニーランドであべちゃんといつしよに乗ったコースクリュー	笹間第一小学校六年	渡辺碧桜稀
たのしみは動物園の動物達ふわふわしてて可愛い時	笹間第一小学校六年	小原 もな
たのしみは水族館でイルカ見て楽しかった日もう終わるとき	笹間第一小学校六年	小原 駿
たのしみは水族館で生き物をいろんな人と見て回る時	笹間第一小学校六年	高橋龍之介
たのしみはベニーランドでたくさんのアトラクションに乗っている時	笹間第一小学校六年	高橋 晴登
たのしみは水族館でクラゲとチンアナゴをゆつくり見る時	笹間第一小学校六年	佐々木華子
たのしみは丘のホテルで友達と話をしながら笑い合う時	笹間第一小学校六年	清水 彩笑
たのしみは水族館で生きものをガラスごしから見つけ出す時	笹間第一小学校六年	臼杵 結愛
たのしみはベニーランドのゴーカートアトラクション最高な時	笹間第一小学校六年	米沢 旭陽
たのしみは水族館の生き物に目を輝かせてはしゃぐ時	笹間第一小学校六年	小原 歌乃
たのしみはみんなदैいつしよに楽しんで笑顔いっぱい笑い合う時	笹間第一小学校六年	八重樫初奈
たのしみはイルカショーの水しぶきイルカがジャンプもりあがる時	笹間第一小学校六年	高橋 幸靖
たのしみはすいぞく館でビーバーを友達と見つけ合うかわいい所を見つける時	笹間第一小学校六年	盛川 龍舞
たのしみは水族館で友達と買い物して楽しい時	笹間第一小学校六年	川越 滝騎
たのしみは水族館で魚を見たり買い物したり楽しい時	笹間第一小学校六年	高橋 毅兜
たのしみは水族館でおさかなやペンギンたちを見てまわる時	笹間第一小学校六年	高橋 莉夢
たのしみはベニーランドで遊ぶことしたら次は買い物するとき	笹間第一小学校六年	福山 颯杜
たのしみは、水族館でおかい物値だん高くてお金ないとき	笹間第一小学校六年	高橋 歩寿
たのしみは水族館のイルカショーみんなで見つめ笑い合う時	笹間第一小学校六年	原 瑞葵
たのしみは水族館で面白い物を色々買ってお金ないとき	笹間第一小学校六年	金子 音哉
たのしみは水族館で友達といろんな魚見ている時	笹間第一小学校六年	根子 恭弥
たのしみは、水族館のサメを見るちよつとこわいかもサメ空間の時	笹間第一小学校六年	庄子 瑠花

令和六年度花巻市民芸術祭第十八回文芸大会

「短歌」

中学生の部

石黒 和夫 選

多田 聡子 選

奨励賞

立春の風に吹かれる木々の下大人になる式鼓動高鳴る

早池峰の山にかかりし白雲のたなびく姿秀麗な白

帰り道落ちこむ時にはげまされ優しい友とうれしい時間

ゴ―グルをしつかりつけて深呼吸勝ちたい気持ち祈る一瞬

初夏の風君の額に汗つたう届けと祈る私の想い

大迫中学校 二年 佐々木珠莉

大迫中学校 二年 佐々木春輔

花巻中学校 二年 高橋 礼佳

花巻北中学校 二年 伊藤 武琉

西南中学校 二年 照井 和奏

参加作品 中学生の部

広場から聞こえてくるのは鐘の音祝砲の音人々の声
耳いっぱい大迫力の夏祭りこの日は大人も子供みたいだ
夏祭り皆で騒いでお買い物屋台はたくさんお金が無くなる
放課後に自転車坂を雨上がり下りていたら転んで骨折
山道にシカクマ発見これが自然夜道にキケンこれが大迫
天の川空を見上げて星探すと眺めて風邪をひく
カーテンの外に雲から招待状重い紙面に足跡を押す
空一面みかんのようなあの空は海に少しづつ食べられてゆく
遠くから笛や太鼓の音がする光輝くあんどん祭り
空高く七色に輝く^{ひか}変化菊咲いて見せよう火花^{いのち}散らして
立秋の木々が色づく紅のほのかに香る山からの便り
秋晴れにぶどう収穫男の子ハサミ片手に気持ちを入れて
暑い夏愛犬が望む外の世界私が望む家でアイス
思い出は雲ひとつない夜の青暑威に負けるな打ち上げ花火
色のない天から降りそぐ宝石は透明な雫ダイヤのようだ
大会で守備のおこたり六失点最後はゲームセット
日の照らす一面響くセミの声暑さをさらに感じさせる
友だちとキャンプに行った最終日まだ終わるなと思ひ寝た夜
夕立の降る空ながめ茶をすすめる雨はやむさと一人つぶやく
協力し一位目指した四人五脚あの日の空は一生の青
夏休み多い宿題頑張るぞ終わった後は冷たいアイス

大迫中学校	二年	阿部 祥吾
大迫中学校	二年	石ヶ森佑葵
大迫中学校	二年	石橋 明弓
大迫中学校	二年	伊藤 悠哉
大迫中学校	二年	小野 閑馬
大迫中学校	二年	齊藤 優心
大迫中学校	二年	佐々木 直
大迫中学校	二年	佐々木 遥斗
大迫中学校	二年	佐々木 真世
大迫中学校	二年	佐藤 蒼真
大迫中学校	二年	高橋 幸佑
大迫中学校	二年	遠山 莉央
大迫中学校	二年	藤田 凜花
大迫中学校	二年	藤原 来風也
大迫中学校	二年	藤原 友梨佳
花巻中学校	二年	阿部 舜
花巻中学校	二年	伊藤 大雅
花巻中学校	二年	伊藤 天斗
花巻中学校	二年	伊藤 弘康
花巻中学校	二年	岩渕 聖蘭
花巻中学校	二年	小原 虎流

今までの経験生かし本番へ絶対優勝県中総体

やめられぬいまもむかしもとまらない変わらない味カツパエビセン

コンクール金賞とれたうれしさが県大会でもとれるように頑張りたい

この世の旗色とりどりで面白い全ての旗には意味込められてる

今日は雨外で部活ができないな今月中に大会あるのに

もう夏だ早くきてくれ夏休みけど宿題はなくてほしい

大会でいいプレーを出すため集中ださあ練習にはげむぞ

テスト後の次の日なれば夜ふかしをゲームざんまい友達とともに

体育祭クラスみんなで協力し優勝をしたあの日の幸せ

部活おわりにアイスを食べるなんともいえず冷えたアイスが美味い

目が覚めたまぶたと葛藤けど負けた寝たら天国起きれば地獄

暑い夏すずしい部屋でアイステレビを見ながらとても最高

県中で三年支える二年生僕らの夏はまだまだ続く

夏の夜発表会にかがやきの音色あふれるビデオと私

水の中飛びこむ前のきん張を自分を信じ深呼吸

友だちと日向ぼつこで一休み急がず焦らず楽しい一時

ふと思う時計を見れば残り五分悔いだけ残る数学の問い

もう夏だせみの泣き声ひびいてるプールの中にとびこみたい

テスト中沢山集中疲れたな帰ったらゲーム沢山したい

夏休み友だちの家とまりいく楽しすぎてオール確定

雨降る日あの時のこと思い出す後悔残る私の思い出

お祭りの雰囲気が好き大量の人おいしい屋台

花巻中学校 二年 加賀 勇陽

花巻中学校 二年 金子 諒介

花巻中学校 二年 刈谷 望愛

花巻中学校 二年 菅野 緋央

花巻中学校 二年 熊谷 航太

花巻中学校 二年 小林 玖磨

花巻中学校 二年 齋藤 漣

花巻中学校 二年 笹木 翔

花巻中学校 二年 佐々木 円

花巻中学校 二年 佐藤 絆琉

花巻中学校 二年 佐藤 唯夏

花巻中学校 二年 佐藤 璃緒

花巻中学校 二年 白藤 蒼泉

花巻中学校 二年 杉本 茜音

花巻中学校 二年 高橋 佳暖

花巻中学校 二年 高橋 眞琴

花巻中学校 二年 高橋 悠佑

花巻中学校 二年 千田 大遥

花巻中学校 二年 中村 珀翔

花巻中学校 二年 藤田 蒼大

花巻中学校 二年 二上 凜望

花巻中学校 二年 三田 百々花

コンクールベストな演奏仲間たち楽器と一緒にあふれる涙
 入るように祈りを込めてはなつボール成果発揮し高鳴る気持ち
 コンクール金賞とり喜びを大きな夢は全国にいく
 テスト後に家に帰ってゲームする久々にやるのは最高だ
 給食中おかしことをしていてふくすんぜんで必死にこらえる
 ミンミンと授業のときに鳴りひびく「夏が来たなあ」ふつと思った
 いつもより軽いペダルを踏みながら今考える今後の予定
 テストが終わったあととじどうはんばいきつかうミツヤサイダーさいこうだ
 練習後アイスの味は最高だ明日は今日の自分をこそう
 部活後の至福の時間がまちどおしいもう帰るよと惜しむあの時
 輝けり外に出れば銀世界寒さが吹きとぶ美しさ
 暑い夏涼しい部屋でアイス食べ元気をだしてやるきをだすぞ
 夏休みプールで泳ぐ友達と弾けとぶ水かがやいている
 お茶には日常より部活後はすごく美味しい謎現象
 おつかいという口実で妹と出かけて帰りにおつりでアイス
 転部してサツカー部行き十日後にぜんち三カ月のこっせつになる
 夏休みプール上ってアイス食かなり冷たくめっちゃ涼しい
 試合前大きく深呼吸して願ういいレシーブを打てますように
 夏祭り熱気に包まれワイワイとただ楽しむだけさあ笑おう
 靴ひもをしつかり結び集中だスタートダッシュ祈る一瞬
 テスト後に明日は大会だと思ひ決勝出れるか緊張走る
 達成感その瞬間が心地いいシュートをリングに決められたとき

花巻中学校	二年	盛川	結衣
花巻中学校	二年	吉田	南奈
花巻中学校	二年	和川	穂夏
花巻中学校	二年	伊藤	慧太
花巻中学校	二年	伊藤	椿姫
花巻中学校	二年	上田	結心
花巻中学校	二年	大河原	千尋
花巻中学校	二年	小田	中春人
花巻中学校	二年	勝沼	颯人
花巻中学校	二年	菅野	公美
花巻中学校	二年	菅野	莉央那
花巻中学校	二年	木村	彩芭
花巻中学校	二年	坂井	風太
花巻中学校	二年	佐々木	乙華
花巻中学校	二年	佐藤	菜月
花巻中学校	二年	佐藤	大夢
花巻中学校	二年	杉本	千依
花巻中学校	二年	高橋	芭奈
花巻中学校	二年	田代	暖樹
花巻中学校	二年	千葉	颯真
花巻中学校	二年	中嶋	尚利
花巻中学校	二年	猫塚	陽雅

友達の友達くれば自分見ず今は自分が話していたのに
 部活動終わって帰るとアイス食うつめたいアイスはとてもおいしい
 家帰り磨き終わった楽器見てありがとうねと最後一言
 夏休みガリガリ君かスイカバーどちらを買うかまよう夏の日
 がんばって二人でつないだボールを自分で決めて勝利へ一歩
 地をかけるみなでつないだこのバトンみごと一位のこの瞬間
 休日のやること決めて一日の大事な時間終わってしまう
 夏の夜みんなで宵宮いろいろなくじや食べ物楽しかったな
 息ひそみ階段のぼって驚かす跳びはねる弟喜ぶ自分
 大会でスタート決めて走り出す最後まで走りベストをつくす
 ある人と二人で下る下り坂声が聞こえず大声で話す
 ねるまえにふと思いだす自由曲必ず見たい感動のなみだ
 ゲームして半日寝た後またゲーム何もしてない最高の日だ
 帰り道たまたま見えた夜空には星がしつかりうつっていた
 初試合余裕に満ちた相手の顔ふるえる手足はじめの一本
 起こされて言われた一言しうげきだ窓から猫が脱走してる
 新体操始めて二年で部長デビュー三年生が愛おしい
 悔しさがふと夕暮れの中立ち止まるやるしかないとわかつていても
 レシーブし上がったボールセッターへきれいにかえりスパイクきまる
 一度目の試合のように終わらせない絶対決めるこの一本
 中総体自分が勝てば次に行ける勝てますようにプレイボール！
 二日前展望台で町見たらすごい絶景盛岡の町

花巻中学校	二年	濱田朔太郎
花巻中学校	二年	林上 怜玄
花巻中学校	二年	福山 幸花
花巻中学校	二年	藤井琥太郎
花巻中学校	二年	藤原野乃花
花巻中学校	二年	松田 蒼士
花巻中学校	二年	山田 怜依
花巻中学校	二年	秋元 凜皇
花巻中学校	二年	阿部 奏
花巻中学校	二年	伊藤 誉
花巻中学校	二年	牛崎さくら
花巻中学校	二年	及川 柊真
花巻中学校	二年	小野寺冬馬
花巻中学校	二年	神山 紫夕
花巻中学校	二年	齋藤 千晴
花巻中学校	二年	佐々木笑麻
花巻中学校	二年	佐々木香里奈
花巻中学校	二年	佐藤 健
花巻中学校	二年	佐藤 泰成
花巻中学校	二年	嶋 春乃
花巻中学校	二年	菅原 遥天
花巻中学校	二年	高橋 隼斗

中総体チームで挑む決勝戦県大会に行けました
 悔しくてたくさん泣いた中総体新人戦は県大へ
 あと3秒同点の場面打つしかないロングなげて入って勝利
 あつというまに七月だ海にプールに楽しむぞ
 祭りでの二人で歩き手をつなぐけしてきれない愛の赤糸
 ペン握り一発集中最後まで描き生まれよベストを尽くせ
 緑色光り輝くグラウンドコートに立つ足重く感じ
 七夕の二人の恋人天の川夢よりはかなき愛の川
 戦場で相手と向き合う一時の周りの音は何も聞こえず
 夏休みせみがみんな盛暑の日アイスをとべて体とろける
 帰る時急に大雨降つてきて自転車こいで早く帰ろう
 テスト前気合を入れて猛勉強溶けるように消えるシャワー芯
 貴方まで声を届けて勝利への最後の一本託した思い
 緊張のテスト当日ふるえる手過去の努力信じて「はじめ」
 忘れえぬ一区かくとく実る努力心たかぶり高まる不安
 勝つという気持ちを含めてもくそうし一本勝ちができますように
 上見ればきれいな虹がうつすらと一瞬映る雲の上には
 大会の結果発表皆さけびみんなで演奏増えるチャンス
 帰り道部活終わりの通学路うす暗くなりおながすいた
 クラス変えワクワクの毎日面白い個性の多い友達と
 たのしいなああたのしいなおれのまいにちたのしすぎるぜ
 初めての職場体験ドキドキだ仕事の楽しさ味わえたあの日

花巻中学校	二年	塚澤	聖哉
花巻中学校	二年	照井	える
花巻中学校	二年	照井	鷹山
花巻中学校	二年	中野	由蘭
花巻中学校	二年	中村	哲朗
花巻中学校	二年	平賀	蒼衣
花巻中学校	二年	藤原	真太
花巻中学校	二年	藤原	莉來
花巻中学校	二年	坊澤	征周
花巻中学校	二年	三上	優芽
花巻中学校	二年	村井	佑輔
花巻中学校	二年	阿部	柚月
花巻中学校	二年	岩館	柚奈
花巻中学校	二年	宇方	方爽健
花巻中学校	二年	梅木	美空
花巻中学校	二年	小原	朱弥
花巻中学校	二年	川村	茉央
花巻中学校	二年	菊池	陽菜
花巻中学校	二年	佐々木	晟吾
花巻中学校	二年	佐藤	愛琉
花巻中学校	二年	佐藤	旬
花巻中学校	二年	佐藤	琉唯

先輩の笑った顔を見るために県中総体絶対勝つぞ

体験で保育園に行き子どもといっしょに遊んでとても楽しい

体育祭全員リレーで力を合わせ上位を目指して頑張っていた

初めての職場で緊張したけれどたくさん学んだ職場体験

体育祭上位目指して四人五脚声と息を合わせてがんばった思い出

登校日ドジョウが道に落ちていた僕の宝物だよ

三年生少ない中での初勝利今も忘れぬあの気持ち

外は雨中は暑くて混乱だやっぱ梅雨はふしぎな季節

宵宮でさ長く並んで買えるかな思ってたうちにうりきれた

忘れえぬゴールを決めたあの瞬間心に決めた「またゴールする」

帰り道朝にのぼったのぼり坂止まらずくだる朝の坂道

シュート打ちゴール入ってうれしいなポジションうまくなっていく日々

中総体市での一敗胸にとめ県では優勝熱き思い

はしりたいあたらしいばしょやってみてたのしくはしるともだちとね

午前授業いつもの学校なはずなのになぜかワクワクしてしまう

大丈夫絶対勝てるこの一戦負けられないと心でつぶやく

県大会目標めざす県ベスト4本番まで本気で練習

見つけたぞ人混みの中光ってるジャージ姿のハンサムボーイ

中総体いろんな人が集まって卓球やって雨が多くていろんな音

中総体決勝にまで勝ち進み練習の成果出す時が来た

テスト前テスト勉強してたから前より点数上がったよ

テスト前テスト勉強したけれどテストの点数上がらなかった

花巻中学校 二年 主濱 華砂

花巻中学校 二年 菅原 遥翔

花巻中学校 二年 鈴木 香凛

花巻中学校 二年 瀬戸 碧

花巻中学校 二年 高橋 海莉

花巻中学校 二年 高橋 柚来

花巻中学校 二年 田中 新大

花巻中学校 二年 継枝 蒼天

花巻中学校 二年 寺澤 瑚子

花巻中学校 二年 照井 瑚虎

花巻中学校 二年 中里 琉生

花巻中学校 二年 新田 心菜

花巻中学校 二年 藤井 希一

花巻中学校 二年 藤原 永遠

花巻中学校 二年 星 磨宏

花巻中学校 二年 松田 吉平

花巻中学校 二年 宮沢 慧人

花巻北中学校 二年 小向 柑南

花巻北中学校 二年 長谷川 吾央

花巻北中学校 二年 中島 希

花巻北中学校 二年 佐々木 羽海

花巻北中学校 二年 畠山 四季路

楽器持ち音楽室の戸を開ける風と一緒に響く音楽

勝ちに行くボールを繋ぎあと一步聞きたくない笛悲しい結果に

暑い日に扇風機つけたら白猫が扇風機に添い寝し一体化

むしむしと夜のおまつり人混みでキーンと冷えるけずつたいちご

テスト前勉強してる当日も勉強してる大変すぎる

ゲームセット負けてしまった先輩が気持ちしがゆれるああつらい

友達の手をひいて走るよみや中美味しいにおいを目指して走る

学校に行っているときに雨が降り帰りの方には土砂降りだった

焼き肉のにおい漂い腹が鳴り足を早める部活帰り

部活動毎日続く休みなし記憶に残る日差しの暑さ

よみやの日いつばいたべてつぎの日はトイレにずつともつていた

練習の成果を出す時今ここにラケットにぎり挑む試合

最近雨が降ってて蒸し暑い蚊もたくさんいてたくさんさされた

友達と宵宮に行つてクレープとお好み焼きをいっぱい食べた

よみやの日友達と行き好物をたくさん食べて幸せだった

試合でのパスをもらつてスピードで相手を抜いてゴールに飛んだ

照明がぱつと明るくなつたときいよいよ始まる夏のコンクール

勝つために深呼吸して集中だ前とは違うこれで決める

よみやで人であふれて屋台を楽しみつくせずでもそれでいい

勝てるぞテストの点数結果知り一点差で負けてしまった

よみやでチョコバナナを落したが三年生が拾つて食べた

三日前テスト勉強やらないとあせりながらも負けるゆうわく

花巻北中学校	二年	寺林 瑠泉
花巻北中学校	二年	菊池 莉心
花巻北中学校	二年	高橋 愛
花巻北中学校	二年	田中いづみ
花巻北中学校	二年	河内 希彪
花巻北中学校	二年	藤原 莉奈
花巻北中学校	二年	菅原 萌華
花巻北中学校	二年	佐藤 優樹
花巻北中学校	二年	伊藤由羽太
花巻北中学校	二年	大川 陽咲
花巻北中学校	二年	千田 華音
花巻北中学校	二年	多田 康佑
花巻北中学校	二年	垣地 壮佑
花巻北中学校	二年	高橋 樹
花巻北中学校	二年	高橋 歩花
花巻北中学校	二年	田中 春樹
花巻北中学校	二年	宮崎 夏帆
花巻北中学校	二年	小山 雄大
花巻北中学校	二年	小原えみり
花巻北中学校	二年	佐藤 茉奈
花巻北中学校	二年	佐藤 希愛
花巻北中学校	二年	佐々木楓夏

宿題がめんどくさくて横になる後でいいや心の本音

コンビニできりつと果実のちがう味飲んでみたら普通がいいや
なに書くかなに書くこうかうかばないしかたないのでそのまま書くこう

全力で走りきった体育祭全員リレー優勝できた

大会でスマッシュ決めた嬉しさが湖のよう審判の声

帰宅中真つ赤な空につつまれて次この空はいつみれるのか

聞こえたよ「センター」って呼ぶ声がトスが上がつて口が緩む

テスト時間・残り五分で・焦りだす書く字汚く・スピード早く

優しい兄話をひろい笑う顔憧れの兄優しい兄

自転車で坂道めつちやとばしたら雨ですべてすつてんころりん

誕生日自転車忘れ取りに行き数年ぶりに落ちて転んだ

ある日の朝ミンミンミンと鳴いている日光浴を浴びていた

夏コンは最後のほうに譜面台低くて見えないニコニコとする

プレイボール試合始まりトスあげる初めてきまつたファーストサーブ

「あぶないよ」先生にそう言われたレントゲンの僕の右足

久しぶり古き友人待ち合わせあの日の思い出出しけり

耐えてくれ！下の出口に全集中家につくまであと何分か

放課後に玄関口で笑いあう友と雑談声響き渡る

兄もらう初任給金欠の私がねだる「千円だけ」

実家の少し色褪せた扇風機「ウチュウジンダ」なんてバカみたい

ジャングルジム足から落ちて骨爆散どうしたものか松葉杖

夏の夜小さなカエルの大合唱夏よ終われと毎日ねがう

花巻北中学校 二年 佐藤 夢真

花巻北中学校 二年 白石 隼佑

花巻北中学校 二年 早野 康太

花巻北中学校 二年 井手凜々香

花巻北中学校 二年 寒川未唯奈

花巻北中学校 二年 藤戸 悠蒼

花巻北中学校 二年 田中 華音

花巻北中学校 二年 小川 剛

花巻北中学校 二年 伊藤えれな

花巻北中学校 二年 小野寺碧花

花巻北中学校 二年 尾形 結奈

花巻北中学校 二年 高橋 紘佑

花巻北中学校 二年 佐々木心愛

花巻北中学校 二年 小原 麗子

花巻北中学校 二年 伊藤 磨生

花巻北中学校 二年 菅原 莉緒

花巻北中学校 二年 加藤 現

花巻北中学校 二年 新垣 凜

花巻北中学校 二年 鎌田 愛結

花巻北中学校 二年 多田 陽亮

花巻北中学校 二年 岡野 陽民

花巻北中学校 二年 千田里緒菜

東京丑三つ時に共に見た星空の様綺麗な夜景

優勝に導くシュート決めてやるキーパーを抜け初得点

アニメ見て三日寝なずに外昼寝起きてみたら二時間経過

面つけてドキドキしながら竹刀にぎる県大会を目標にして

弟がやつとのことですってくれたあの日の「ゆきな」は今も忘れず

ミスつても仲間がいるから大丈夫元氣を出して次なる一打

点を取ろう誓った言葉に音加え二人の絆試す時だ

ギョギョギョギョとわれがさきにと言うようにドクターフィッシュは吸いついてくる

ミスをして私のせいで負けましたその後悔を次に繋げる

味はレモンお目当てのからあげよみやにて爽快感でまた食べたい

最終日最後に残した宿題をアイス片手に死ぬ気で取り組む

あと1点狙いを定めて打つシャトルネットのおくに落ちる音

海の奥さらさらまたたくかぼそい先今日も誰かが思いを伝える

友達と帰りに食べたいちごあめこのままずっと続けばいいのに

ドキドキと緊張高まるコート上円陣組んで優勝目指す

たくさんの思いを背負い踏みこんだシュートが決まる歓声の声

ピッチ上チームで円陣気合入れ勝つぞと思ひシュートをうつ

勝負の台目前に怪我やるせないところが完治無事に出場

初夏の昼頂に響く蟬の声体を清める遠き山寺

被災の地陸前高田伝統の五つの遺構海の歴史

震災の被害や怖さ学べた日未来へつなぐあの日のことを

七万の松がいまでは一本に復興に向け町の希望に

花巻北中学校 二年 齊藤 百華

花巻北中学校 二年 清水 李桜

花巻北中学校 二年 佐々木 咲空

花巻北中学校 二年 佐藤 美来

花巻北中学校 二年 佐藤 夢姫奈

花巻北中学校 二年 伊藤 紅愛

花巻北中学校 二年 坂本 美来

花巻北中学校 二年 高橋 奏人

花巻北中学校 二年 石黒 藍子

花巻北中学校 二年 杉本 詠

花巻北中学校 二年 高橋 心音

花巻北中学校 二年 阿部 楓

花巻北中学校 二年 平山 唯

花巻北中学校 二年 中島 愛瑚

花巻北中学校 二年 稗貫 希

花巻北中学校 二年 田中 姫和

花巻北中学校 二年 浅沼 琉稀

花巻北中学校 二年 土岐 一颯

湯本中学校 二年 今村 龍輝

湯本中学校 二年 上野 蒼介

湯本中学校 二年 大澤 智志

湯本中学校 二年 大窪 煌人

中総体暑い夏の日優勝し初の握手に初のねぎらい
 大津波来てもめげない人々の復興魂ここにありけり
 春休み親友と来たショッピングで最つ高のね思い出できた
 夏休み家に帰れば母が出す冷えたスイカと部屋の冷房
 久々の線香花火夜照らし落下していく夏のひととき
 水たまり中をのぞくと富士写る空は快晴美しきかな
 寒い冬サンタクロースがやってきたプレゼントあつたまくら元には
 テスト中響き続けるペンの音静まれ心音落ち着け私
 勝つてやる心の中で決意する相手に全力ぶつけてやろう
 いつまでも復興つづく沿岸部ひとりじゃないよみんなのちから
 コンクール結果を聞いて笑いあう先輩たちをみ笑みをこぼす
 獅子舞にかまれなみだ目幼き日今だと少しうれしかったな
 生き返る高温多湿運動後キンキンに冷えたジュースアイスら
 瞳に映るキラキラ光る大きな海近づくだけで心踊る
 休養日ホームセンター犬飼いに名前どうしよう思いつかない
 ドアノブがうでに刺った思い出は今ではすっかり笑い話だ
 朝六時つめたい空気ただ一人自分だけの世界みたいだ
 海の青空の青さの壮大に心うばわれ陸前高田
 スーパーのお菓子売り場を見て歩く実感したよ値上げの波を
 先輩の笑顔で終える悔いのない県大会に進む未来へ
 一ヶ所に集まって咲く三色の色あざやかな秋桜の花
 猛暑日に野球の試合長引くと頭痛が起きてほぼ熱中症

湯本中学校	二年	小田島羽良
湯本中学校	二年	小野寺琥大
湯本中学校	二年	佐藤 凌寧
湯本中学校	二年	清水 奏汰
湯本中学校	二年	瀬川 真央
湯本中学校	二年	鷹嘴 連
湯本中学校	二年	高橋 奏太
湯本中学校	二年	高橋くるみ
湯本中学校	二年	田中 獅恩
湯本中学校	二年	千葉 愛実
湯本中学校	二年	照井 咲幸
湯本中学校	二年	永喜多優花
湯本中学校	二年	西尾 吏功
湯本中学校	二年	藤根 叶奈
湯本中学校	二年	松岡 祐真
湯本中学校	二年	三田みづき
湯本中学校	二年	和合 毅
湯本中学校	二年	渡邊 彩華
湯本中学校	二年	芦澤 碧
湯本中学校	二年	泉田 紗那
湯本中学校	二年	伊藤 咲空
湯本中学校	二年	梅木 統哉

部活動チームみんなで汗流し優勝に向け一直線

夏休みみんなで遊ぶ夏祭りテストが近く緊張も増す

朝だけど料理の動画見てきたよおいしそうだな食べてみたいな

暑い夏プールで涼みアイス食べここまで暑いと冬がこいしい

暑い日に冷房つけてアイス食べ涼しい秋を待つ八月よ

夏曲を口ずさみ今見る空の青色まるでラムネのビー玉

キレてすぐ壁を殴って穴あけて親が来てすぐ怒り始める

金賞をとると決意し深呼吸心を一つに楽しく演奏

暑くなく少し寒いよ気づいたら夏が終わって秋のはじまり

夏の夜耳をすませばすぐそこに自然の音と歌う生き物

夏の時期アイスかスイカ迷ったがやっぱりスイカ最高だった

暑い中バスケ仲間と汗流しきつい練習のりこえるかな

昼休み友と話すはささいなことあつという間の楽しき時間

どしゃぶりの駅伝コース走りけりみんなの声援さあがんばろう

新人戦練習はげみ優勝し勝って終わろう今シーズン

手のひらに違和感ありて見てみたら載っていたのは一匹のくも

夏休みたくさん遊んだ宿題はまだ終わってない焦りだすかな

扇風機宇宙人の声まねてあつさなんかふきとんじやう

夏前海昔の兄はどこへやら今とは違い優しかりけり

アイス食べ友と遊んでひと夏の何気ない日々思い出となる

中総体必ず行くぞ県大へ勝利を目指したただ突き進む

数学は俺にとってはライバルさいつかお前を倒してやるぞ

湯口中学校 二年 小野寺一颯

湯口中学校 二年 小原 爽

湯口中学校 二年 小山田怜叶

湯口中学校 二年 菊池 湊斗

湯口中学校 二年 久保田敦仁

湯口中学校 二年 久保田陽まり

湯口中学校 二年 佐々木一輝

湯口中学校 二年 佐々木 奏

湯口中学校 二年 佐々木優帆

湯口中学校 二年 鈴木 彩華

湯口中学校 二年 高野橋桜介

湯口中学校 二年 高橋 昂希

湯口中学校 二年 高橋 知紘

湯口中学校 二年 多田真之介

湯口中学校 二年 筑後 奏真

湯口中学校 二年 中村 理雄

湯口中学校 二年 畠山 愛瑠

湯口中学校 二年 畠山 蒼生

湯口中学校 二年 畠山 光琉

湯口中学校 二年 平賀 郁斗

湯口中学校 二年 平賀 樹

友達と外でたくさんあそびけり雨の中でもまだあそびたい
 岩手山溶岩流の絶景と写真をとった中二の思い出
 夏休み体育館が暑すぎて集中できない部活動かな
 帰り道スマホをつけて「もう六時？」辺り見まわし秋を感じる
 夏休み空を見ながらスイカ食べ中二の夏を満喫したよ
 コンクール会場で鳴り響く一人一人の豊かなメロディ
 河川敷人あつまって空みあげ色とりどりの咲きみだれる
 部活動楽しかった六人で記憶に残る青春だ
 昔からずっと残っている覚えの無い変な記憶はなぜ消えないのか
 中総体このチームでの県大会出場決まって最高すぎる
 部活後に汗を流してニコニコとみんなで帰ったあの晴れの夏
 本番に本気で走って最後まで次の走者にバトンを渡す
 猛暑の中総体仲間との必死の心勝利の道
 恒例の体育祭全校が心ひとつに勝利をねらう
 点を取るそんな気持ちでコート立つ絶対決める今飛ぶ瞬間
 今走るみんなの勝利目にうつる今こそ攻めて勝利もぎとる
 夏休みには家族と一緒に出かけに行つて家族と楽しみたいな
 夏の日に妹と遊び汗だくで夏が来たなと感じる私
 中総体負けたら終わりのプレッシャーコートの中ではいつも全力
 個人戦始まるときに仲間から応援の声さあはじまりだ
 タイピング技術室にて自己ベストあゆみに書きしうれしき気持ち
 クリスマスずっと待ってたプレゼントグローブ欲しいカッコよすぎる

湯口中学校	二年	平賀 成美
湯口中学校	二年	平賀 雪奈
湯口中学校	二年	藤原 湊
湯口中学校	二年	松下 朱里
湯口中学校	二年	宮川 芽久
湯口中学校	二年	山下 柊哉
西南中学校	二年	安藤 梨来
西南中学校	二年	佐々木彩衣
西南中学校	二年	高橋 璃空
西南中学校	二年	藤田 和希
西南中学校	二年	八重樫賢次郎
西南中学校	二年	照井 駆
西南中学校	二年	小原 英紀
西南中学校	二年	根子 純奈
西南中学校	二年	永島 六花
西南中学校	二年	高橋 朔夜
西南中学校	二年	盛川 煌莉
西南中学校	二年	小原 瑞稀
西南中学校	二年	清水 優笑
西南中学校	二年	高橋 大地
西南中学校	二年	八重樫 中
西南中学校	二年	高橋 琉芽

学校の部活終わりに空見れば赤い夕焼けまた見てみたい
 中総体あせる試合で一勝だ二勝できるまであともうすこし
 帰宅するとしつぽを振って待つペットリードを持って散歩に行こう
 友達といつも楽しく遊んでるまた遊びたいと思つてます
 扇風機すずしいだろうと立ち歩き風へ近づくとやはり暑い
 かねの音すずやたいこの音ひびく祭りの時期に夏感じる
 西側の山の中に太陽がすわれていつてさみしさ感じる
 サッカーで試合に勝つと秘めながら目の前の敵ぶつつぶすこと
 中総体スマッシュ決めて点を取りかんせい上がつて試合に勝つ
 変わりゆく声とチームが新しくふみ出して一歩これからの日々
 目標は毎回出したい自己ベストあとは待つだけピストルの音
 友達と話す時間は楽しいな共通の趣味話し合う時
 中総体3ベース打って活躍し県大出場うれしいな
 中総体強い相手にいい勝負きんちようほぐれる熱い応援
 発表会不安ある中踊りだす皆が輪になり盛り上げる
 テスト中聞こえてくるはペンの音後ろ姿もりりしく挑む
 「宣誓!!」と晴天の下声響く選手宣誓なじむ声あり
 中総体勝つても負けても県大会絶対勝つぞ全力投球
 友達と一緒に笑う昼休み楽しい時間すぐ過ぎていく
 強い日差し夏と感じるその瞬間より一層にアイスがうまい!
 帰つたらしつぽをふつてうったえる「散歩いきたい」よしっ行こうか
 真夜中に部屋が一緒三人の楽しい恋バナ皆の思い出

西南中学校	二年	八重樫 琉
西南中学校	二年	富澤 紘
西南中学校	二年	澤田 陸玖
西南中学校	二年	藤原 未翔
西南中学校	二年	高橋 文耶
西南中学校	二年	高橋 晟
西南中学校	二年	石ヶ森瑛亮
西南中学校	二年	藤原 成悠
西南中学校	二年	照井 稜央
西南中学校	二年	小原 花夏
西南中学校	二年	小原ひまり
西南中学校	二年	佐達 瑠杜
西南中学校	二年	福井 凌惺
西南中学校	二年	庄子 理人
西南中学校	二年	高橋 舞空
西南中学校	二年	橋本 和心
西南中学校	二年	村上 晴真
西南中学校	二年	新淵 穂岳
西南中学校	二年	伊藤 亜純
西南中学校	二年	佐藤 直樹
西南中学校	二年	照井 美空
西南中学校	二年	佐藤 蒼奈

令和六年度花巻市民芸術祭第十八回文芸大会

「俳句」

中学生の部

奨励賞

入道雲まるで受験の壁のよう

雨の中蛙があるく音がした

夏の風楽器の音色のせていく

忙しない東京の人西日差す

せみが飛ぶ太鼓練習の暗い夜

宿題の終わりが見えぬ夏休み

入選

大畑 善昭

選

フルートに澄み渡る空映る夏

道端の思わぬところにセミ爆弾

花巻北中学校 三年 菊池 高

湯口中学校 三年 佐々木実泉

西南中学校 三年 照井 湊愛

湯本中学校 三年 菊池 圭斗

大迫中学校 三年 小森林仁菜

矢沢中学校 三年 清水 宏仁

矢沢中学校 三年 田村 悠華
花巻北中学校 三年 藤井 陽菜

入道雲まるで受験の壁のよう
虫たちの声に誘われ遠回り
雨の中蛙があるく音がした
夏の風楽器の音色のせていく
父からのバラと感謝を母の日に
天高し首が疲れるスカイツリー
出店にて並ぶ時間も祭りかな
せみが飛ぶ太鼓練習の暗い夜

佐々木 みき子

選

宿題の終わりが見えぬ夏休み
帰宅した弟の手にはあまガエル
梅雨明けだ日がでる前に練習だ
放課後に草笛ふきの特訓中
向日葵と顔をみあわせ笑う友
夏の風楽器の音色のせていく
体育祭空まで響く応援歌
デイズニーで暑さに負けず並ぶ時間
忙しない東京の人西日差す
柔道は汗と涙の大勝負

花巻北中学校	三年	菊池 高
花巻北中学校	三年	小原瑠唯奈
湯口中学校	三年	佐々木実泉
西南中学校	三年	照井 湊愛
西南中学校	三年	藤原 彩花
湯本中学校	三年	鎌田 匠真
湯本中学校	三年	菊池 圭斗
大迫中学校	三年	小森林仁菜

矢沢中学校	三年	清水 宏仁
花巻北中学校	三年	松浦 拓海
花巻北中学校	三年	遠藤 蒼介
花巻北中学校	三年	伊藤 雛希
湯口中学校	三年	佐藤 毬乃
西南中学校	三年	照井 湊愛
西南中学校	三年	原 唯夏
湯本中学校	三年	伊藤 希珠
湯本中学校	三年	菊池 圭斗
大迫中学校	三年	伊藤 丞

畠山 濁水 選

仰向けの哀れみさそう墓のセミ
入道雲まるで受験の壁のよう
ばあちやんち行つたらもらえるお盆玉
ふうりんの音がとけこむ青い空
ぬくぬくのコタツであたる親の足
バスケットやる気と汗があふれだす
黒色のパレットに咲く花火かな
炎天下お台場の浜波の音
忙しない東京の人西日差す
たこやきを食べた花巻祭りかな

安部 克詠 選

宿題の終わりが見えぬ夏休み
三年生悲しみもある卒業式
畑^{はた}仕事日焼けの肌がトマトのよう
ザーザーと途えず鳴るのも夏の音
入道雲まるで受験の壁のよう
雨の中蛙があるく音がした
みな笑顔プール掃除で虹かかる
バスケットやる気と汗があふれだす

花巻北中学校 三年 佐久間蒼天
花巻北中学校 三年 菊池 高
花巻北中学校 三年 伊藤 雛希
花巻北中学校 三年 八鍬終日葵
湯口中学校 三年 遠山 乃空
西南中学校 三年 大和 走礼
西南中学校 三年 堀岡 咲紀
湯本中学校 三年 大石 創介
湯本中学校 三年 菊池 圭斗
湯本中学校 三年 箱崎 孝芽

矢沢中学校 三年 清水 宏仁
矢沢中学校 三年 舛森 風太
花巻北中学校 三年 安孫子花凜
花巻北中学校 三年 松浦 拓海
花巻北中学校 三年 菊池 高
湯口中学校 三年 佐々木実泉
西南中学校 三年 原 唯夏
西南中学校 三年 大和 走礼

西日差すビルがきらめく大都会
辛い時一緒に笑う向日葵と

武田 稲子 選

緊張のオン・ユア・マーク汗握る
宿題の終わりが見えぬ夏休み
一度だけ再会果たそう天の川
入道雲まるで受験の壁のよう
虫たちの声に誘われ遠回り
ふうりんの音がとけこむ青い空
日焼けして追いかけた続けた準優勝
炎天下延長八回大勝利
夏の風楽器の音色のせていく
出店にて並ぶ時間も祭りかな

高橋 和枝 選

夕暮れの秋風ゆらぐ彼岸花
見上げれば夜空に輝く月うさぎ
立ち向かう押し寄せる波何度でも
鳴り止まぬ五月雨明けの大合唱

湯本中学校 三年 田沼 瑛太
大迫中学校 三年 若柳 由佳

矢沢中学校 三年 石沢 昂大
矢沢中学校 三年 清水 宏仁
矢沢中学校 三年 畠山 雫
花巻北中学校 三年 菊池 高
花巻北中学校 三年 小原瑠唯奈
花巻北中学校 三年 八鍬終日葵
湯口中学校 三年 畠山 怜奈
西南中学校 三年 小原 士門
西南中学校 三年 照井 湊愛
湯本中学校 三年 菊池 圭斗

矢沢中学校 三年 菅原 埜乃
矢沢中学校 三年 畠山 雫
花巻北中学校 三年 森 大河
花巻北中学校 三年 留場 創大

そよ風に吹かれ舞い散るもみぢの葉
 真夜中に田んぼから来る夏の音
 セミの声聞こえた瞬間夏が来た
 くもの巣がきらきら光る梅雨の時期
 秋祭りちよびつと寒いかき氷
 夕暮にうつるはすすきもう秋か

参加作品 中学生の部

蜩の鳴き声聞いて夏本番
 時が経ち君との思い出うすれてく
 あこがれし昔を語る同窓会
 流れ星叶うといいな願い事
 冬の朝学校あるが二度寝かな
 七夕の夜は空見て願い事
 冬の朝赤く輝く初日の出
 夏の夜涼しい風と虫の声
 春風や桜舞う空咲きほこる
 夕立の揺れる向日葵蒸し暑く
 帰り道喋る夏鳥父と僕
 暑い日のブルーハワイのかき氷

湯口中学校 三年 佐々木瞬平
 西南中学校 三年 川邊 颯人
 西南中学校 三年 藤原 朱理
 西南中学校 三年 堀岡 咲紀
 湯本中学校 三年 伊藤 佳寿
 湯本中学校 三年 川村 英卯

矢沢中学校 三年 姉帯 遙人
 矢沢中学校 三年 石沢 昂大
 矢沢中学校 三年 石沢 昂大
 矢沢中学校 三年 伊藤 蒼
 矢沢中学校 三年 小田島喜勇
 矢沢中学校 三年 小原 佳朋
 矢沢中学校 三年 小原 佳朋
 矢沢中学校 三年 小向あおい
 矢沢中学校 三年 小向あおい
 矢沢中学校 三年 小向あおい
 矢沢中学校 三年 佐藤 陽人
 矢沢中学校 三年 佐藤 蒼

梅雨の中あじさい笑うにこにこと

冬来たりふわふわと舞う小雪かな

紫陽花や雨水光る夏の朝

星月夜輝く雪と息白し

教室にエアコンの音垂れる汗

かけ回りざわめく落ち葉とんぼ道

雪がとけみんな笑顔で卒業かな

クリスマスこの時期限定白い息

空見上げ秋を感じるいわし雲

秋香る皿の上には秋刀魚かな

夏の夜線香花火家の星

夏休み友と静かに花火見る

見上げれば雪舞う夜空美しけり

桜散り春の終わりが迫り来る

月の下すすきが揺れる秋の夜

雪の中寒さに耐えて突き進む

あざやかにあちこち飛び交うほたるかな

友達とプールに入る夏休み

夏の夜町に響く虫の音

震災よ二度とくるなと願う我

寒い日の澄んだ夜空に流れ星

矢沢中学校 三年 清水 宏仁

矢沢中学校 三年 白澤 茉桜

矢沢中学校 三年 白澤 茉桜

矢沢中学校 三年 菅原 埜乃

矢沢中学校 三年 菅原 埜乃

矢沢中学校 三年 高橋 野乃

矢沢中学校 三年 高橋 野乃

矢沢中学校 三年 高橋 野乃

矢沢中学校 三年 高橋凜々子

矢沢中学校 三年 高橋凜々子

矢沢中学校 三年 田村 悠華

矢沢中学校 三年 田村 悠華

矢沢中学校 三年 千葉 舞華

矢沢中学校 三年 千葉 舞華

矢沢中学校 三年 東方 春菜

矢沢中学校 三年 東方 春菜

矢沢中学校 三年 東方 春菜

矢沢中学校 三年 畠山 雫

矢沢中学校 三年 徳田 陽祐

矢沢中学校 三年 徳田 陽祐

矢沢中学校 三年 舛森 風太

矢沢中学校 三年 渡邊 颯介

夏休みみんなでプール楽しいな
 驚いたプールではしゃぐ真夏の虫
 夏祭りべとべとになったりんごアメかな
 二匹と私冷房かけて熱いお茶
 雨の中潮風香る一本松
 雨の津波伝承館よみがえる水の記憶
 友達にさそわれ遊ぶうれしさよ
 一緒になかよく遊ぶ友達と
 さわやかな水色の空気もちよき
 好き多しアニメイラストよき日かな
 天の川気分おちつく夏の夜
 うちの猫ねるのを見ててねむくなる
 我先に伸びる向日葵ぐんぐんと
 浴衣着て咲^{わら}う三日月咲く火華^{ひばな}
 雷が不気味に轟く暗闇に
 夕立ちのあとに出たるは神の道
 汗にじむ轟く豪音散る灯華^{ひばな}
 せんぷうき火起しにより炭まみれ
 友達と海水浴でとびこんだ
 パチパチと暗闇照らす宵の花
 空の下汗と涙の甲子園
 夏の夜明るい花が空に咲く

矢沢中学校	三年	青木	憂舞
矢沢中学校	三年	五十嵐	空
矢沢中学校	三年	五十嵐	空
矢沢中学校	三年	笠原	恵菜
矢沢中学校	三年	柴田	碧良
矢沢中学校	三年	藤原	梨瑚
矢沢中学校	三年	菅原	花稟
矢沢中学校	三年	菅原	花稟
矢沢中学校	三年	堀合	音乙
矢沢中学校	三年	堀合	音乙
矢沢中学校	三年	堀合	音乙
花巻北中学校	三年	渡邊	衡
花巻北中学校	三年	薦谷	和子
花巻北中学校	三年	太田代	航
花巻北中学校	三年	高橋	匡佑
花巻北中学校	三年	高橋	匡佑
花巻北中学校	三年	松浦	拓海
花巻北中学校	三年	田井	蕾雅
花巻北中学校	三年	斉藤	百花
花巻北中学校	三年	小原	慧矢
花巻北中学校	三年	菊池	優斗

夏の夜打ち上げ花火きらびやか
 快晴と川のせせらぎ流す汗
 八月の引かぬ暑さと蟬時雨
 友達と一緒に花火を見に行つた
 夏の日は海に入つて気持ちいい
 夏休み友達と行こう花火見に
 猛暑日の私と太陽かくれんぼ
 グラウンド蟬より大きな声響く
 ボンとなり静まる会場空見つめ
 となり声耳栓がわりの蟬の声
 夏の夜きれいな花が空に咲く
 夕焼けに心癒され省みる
 熱帯夜げこと聞こえる暑い声
 日が落ちて花火が上がるきれいな夜
 夏の夜空を見上げて星探し
 二歳の子興味津津火のお花
 勉強と線香花火集中力
 祖母の家スイカ片手に甲子園
 夏の夜儚く散りゆく小さな火
 ランニング紫陽花の道応援隊
 汗かいて金魚と共に泳ぎたい
 夏の空活気あふれる大花火

花巻北中学校	三年	高橋 葵
花巻北中学校	三年	照井 希愛
花巻北中学校	三年	藤井 陽菜
花巻北中学校	三年	小原 汰牙
花巻北中学校	三年	安藤朔大朗
花巻北中学校	三年	安藤朔大朗
花巻北中学校	三年	右京 愛心
花巻北中学校	三年	伊藤信太朗
花巻北中学校	三年	佐藤 凜乃
花巻北中学校	三年	及川 零央
花巻北中学校	三年	長谷川 心優
花巻北中学校	三年	菊池 琉稀
花巻北中学校	三年	菊地 俊介
花巻北中学校	三年	伊藤優姫菜
花巻北中学校	三年	大橋 天音
花巻北中学校	三年	小田島百那
花巻北中学校	三年	小田島百那
花巻北中学校	三年	高橋 有生
花巻北中学校	三年	細川 紗那
花巻北中学校	三年	伊藤 漣音
花巻北中学校	三年	伊藤 漣音
花巻北中学校	三年	照井 悠月

打ち上げて大音響の夜花かな
 温かいひまわりの輪と家族の輪
 晩夏の夜入道雲も照らされて
 墨の夜よくよく見ると入道雲
 夜空にある入道雲きれいだな・・・
 日がしずむ輝く海のさびしさよ
 暗闇に光を照らす花火たち
 ベランダで溶けだす氷菓と香る夏
 送り火で菓子と一緒に送り出す
 暑い日に冷えたメロンと溶けたチョコ
 八月の夜空かがやく花火かな
 ふと気付くシトシトと降る梅雨の雨
 セミの声遠く響いて夏つばい
 夏海砂場に映る人の影
 夏祭り花火から出る輝く火
 水鉄砲友達を呼びになる
 夜の空多くの花火輝いた
 夜の空きれいな花火見つめよう
 太陽でプール輝く「さあ、泳ごう」
 音高く花咲き誇る天の川
 「いざ勝負」両手にゲームアイス溶け
 思い出と消える氷の夏休み

花巻北中学校	三年	照井 悠月
花巻北中学校	三年	鎌田 栞暢
花巻北中学校	三年	千葉カムイ
花巻北中学校	三年	千葉カムイ
花巻北中学校	三年	千葉カムイ
花巻北中学校	三年	中田 葵唯
花巻北中学校	三年	中田 葵唯
花巻北中学校	三年	中田 葵唯
花巻北中学校	三年	藤井莉乃愛
花巻北中学校	三年	佐々木哉音
花巻北中学校	三年	佐藤 帆華
花巻北中学校	三年	野田 遥空
花巻北中学校	三年	太田代 健
花巻北中学校	三年	高橋 竣弥
花巻北中学校	三年	高橋 竣弥
花巻北中学校	三年	高橋 竣弥
花巻北中学校	三年	伊藤 雛希
花巻北中学校	三年	樋口 莉穂
花巻北中学校	三年	田畑 礼惟
花巻北中学校	三年	平 晴輝
花巻北中学校	三年	瀧津 慶太
花巻北中学校	三年	古川 頼
花巻北中学校	三年	櫻井 雄磨

家の庭輝く花火ともしびだ
 夕暮れを飛び交うとんぼ赤染まる
 帰り道見つめる先の入道雲
 帰り道見あげた空には夕焼けが
 思ひ出に君との花火追加済み
 夏の夜目を奪うのは光の花
 いとこの背菖蒲の香りに目もくれず
 ゆらゆらと浮き輪とともに波の音
 カラフルないつもと違う夏の空
 川岸で花火見上げて笑顔君
 青い空風鈴の音縁側で
 夏の夜いろとりどりの花ひらく
 切り分けて笑顔こぼれる真紅のスイカ
 夏の夜耳もと響く虫の声
 水浴びて小さく実るミニトマト
 暑い日の風鈴の音が涼しいな
 「どこいった？」城を奪った夏の海
 夏の海思ひ出奪うひっそりと
 スイカ割り夏を感じるあのもよう
 いとこたちいつもと違う夏休み
 花火空まわりを照らしみな笑顔
 快晴に風鈴すずしく草木の音^ね

花巻北中学校	三年	宅間 颯
花巻北中学校	三年	菊池 海翔
花巻北中学校	三年	小野寺春和
花巻北中学校	三年	稗貫 莉子
花巻北中学校	三年	長島 理奈
花巻北中学校	三年	江本莉里杏
花巻北中学校	三年	成瀬 湊
花巻北中学校	三年	菊池 蒼天
花巻北中学校	三年	菊池 美祐
花巻北中学校	三年	君崎 姫夏
花巻北中学校	三年	藤原 結唯
花巻北中学校	三年	藤原 結愛
花巻北中学校	三年	三好 裕心
花巻北中学校	三年	村木 真緒
花巻北中学校	三年	村木 真緒
花巻北中学校	三年	白藤 大瑤
花巻北中学校	三年	高橋 利奈
花巻北中学校	三年	高橋 利奈
花巻北中学校	三年	金子 黎
花巻北中学校	三年	金子 黎
花巻北中学校	三年	及川 快夢
花巻北中学校	三年	高橋 英汰

晩夏の候線香花火で終幕を
 汗かいたペットボトルと稼働音
 笹の葉や雲と戦うアンタレス
 ザーザーと夏を感じる波の音
 すっぱいな脇からにおう夏の汗
 冬の夜寒くて凍り鼻真つ赤
 暑い夏肌日で焼けて齒が目立つ
 花火音静かな街に鳴りひびく
 湯口の地秋の山は信号機
 国士待ち中^{ちゅん}を鳴かれた雀の子
 花祭り着こんだ浴衣咲く花火
 冬みかんたくさんたべて黄色い手
 扇風機あーと声だし宇宙人
 うららかな朝日に照らされ目が覚める
 真夏日にコスモス畑異変あり
 夏空に羽ばたく鳥はゆうゆうと
 裏庭にぴよんぴよんはねる蛙の子
 特別な秋の月影心映す
 スターリング
 四暗刻ツモつて決めた夏の空
 どこからかはじける音の神輿かな
 しゃぼん玉ぱんと弾けて消えていく
 天の川とどきそうでとどかない

花巻北中学校	三年	畠山	瑞菜
花巻北中学校	三年	佐々木健成	
花巻北中学校	三年	佐々木健成	
花巻北中学校	三年	八重樫羽太	
湯口中学校	三年	石塚	裕人
湯口中学校	三年	石塚	裕人
湯口中学校	三年	神山	豪
湯口中学校	三年	久保田	潤
湯口中学校	三年	久保田	潤
湯口中学校	三年	坂本	華斗
湯口中学校	三年	佐々木彩花	
湯口中学校	三年	佐々木彩花	
湯口中学校	三年	佐々木彩花	
湯口中学校	三年	佐々木瞬平	
湯口中学校	三年	佐藤	毬乃
湯口中学校	三年	田井	煌樹
湯口中学校	三年	田井	煌樹
湯口中学校	三年	高橋	芽姫
湯口中学校	三年	高橋	快青
湯口中学校	三年	高橋	優衣
湯口中学校	三年	高橋	麗波
湯口中学校	三年	高橋	麗波

しゃぼん玉花びらうつして空に散る
 マスカットきらいなあの子にラリアット
 クリスマス忘れられてたプレゼント
 春めざし共に戦う受験まで
 鐘が鳴る梨が来るなり大歓喜
 真つ暗な空を彩る花火かな
 満月を目におさめよう永久に
 今年こそあなたに出すよ年賀状
 虫たちが紫陽花の下あまやどり
 花粉症家族みんなで大合唱
 少なすぎもつとちようだいお年玉
 桜の下水面^{みなも}に映る青い春
 家族との花見の思い出また一つ
 日焼けして努力の結晶体育祭
 蒸し暑い夜にかえるの大合唱
 円陣を組んで声がけ一瞬だ
 梅雨の夜カエルがゲロゲロ歌ってる
 大会で強豪校に圧勝だ
 休日にお昼寝をして時過ぎる
 寒りの秋ずつと鳴いてる腹の虫
 雨とおり見上げた空に虹かかる
 あじさいの青と紫葉の緑

湯口中学校	三年	千田	実来
湯口中学校	三年	照井	天晴
湯口中学校	三年	遠山	乃空
湯口中学校	三年	畠山	怜奈
湯口中学校	三年	平賀	成龍
湯口中学校	三年	平賀	もも
湯口中学校	三年	福田	律稀
湯口中学校	三年	藤井	璃音
湯口中学校	三年	藤井	璃音
湯口中学校	三年	藤井	璃音
湯口中学校	三年	八重樫	湊
西南中学校	三年	伊藤	真桜
西南中学校	三年	伊藤	真桜
西南中学校	三年	伊藤	真桜
西南中学校	三年	小原	士門
西南中学校	三年	小原	颯途
西南中学校	三年	小原	颯途
西南中学校	三年	小原	蓮夢
西南中学校	三年	川邊	颯人
西南中学校	三年	川邊	颯人
西南中学校	三年	菊池	愛依
西南中学校	三年	菊池	愛依

セミの声静かな夜に鳴り響く
 応援歌春風共に聞こえる声
 春を待ち上を見上げるオリオン座
 夏の風感じみんなとバスケット
 暑い夏外のベンチでお昼寝中
 最高の仲間と共に県大会
 春になりまどから見えるコブシの花
 春の海ちよつぴり早い夏の香り
 虹の上示しているのは君の夢
 真夏日にいとこと楽しくシューティング
 暑すぎて勉強全く進まない
 夏の空どこを見ても青い空
 晴天の猛暑の中で円陣だ
 お祭り後ちようちん灯る道すすむ
 雨の日に眺めてしまう窓の外
 日の光りプールの水がキラキラと
 青い春ここにあるよと体育祭
 窓からは紅い景気夕焼けや
 梅雨にはユルイ曲で勉強
 家につき月の光を見て帰宅
 体育館入ったとたん汗だくだ
 夜の空星の光りに照らされる

西南中学校	三年	菊池	愛依
西南中学校	三年	斎藤	奏
西南中学校	三年	斎藤	奏
西南中学校	三年	佐藤	奏芽
西南中学校	三年	佐藤	奏芽
西南中学校	三年	佐藤	奏芽
西南中学校	三年	高橋	璃空
西南中学校	三年	照井	湊愛
西南中学校	三年	照井	湊愛
西南中学校	三年	照井	道頌
西南中学校	三年	中島	絢星
西南中学校	三年	中島	絢星
西南中学校	三年	原	唯夏
西南中学校	三年	藤原	朱理
西南中学校	三年	藤原	朱理
西南中学校	三年	藤原	彩花
西南中学校	三年	藤原	颯
西南中学校	三年	藤原	颯
西南中学校	三年	藤原	颯
西南中学校	三年	大和	走礼
西南中学校	三年	大和	走礼

中総体仲間とともに頑張った

西南中学校 三年 高橋 颯良

スプラッシュマウンテンでの汗と水

湯本中学校 三年 伊藤 佳寿

都から帰れば故郷の稲穂かな
小瀬川のよみやの景色夏おわり
花巻の夏を感じる祭りかな
炎天下スカイツリーがそびえたつ
熱帯夜寝てもさめない夢の国
西日さし祭りでにぎわう大通り
東京の暑さ忘れた夢の国
夜なのに元気いっぱいせみの声
夏祭りやっぱり人気かき氷
夢の国月見上げると思い出す
夏の夜終わりを告げるアナウンス
東京の夏色感じるこの暑さ
夜に咲くみこしの魅力夏満開
夢の国暑い時こそアトラクション
明るさに残暑感じるかき氷
太鼓の音暑さ感じる帰り道
涼しいと感じる間も無い叫び声
眺めるは開かぬ扉絵涼しき朝
冷えた水体喜ぶ心地良さ
汗をかきデイズニーランド青春だ
いちごあめ弟が食べしぶい顔
デイズニーでみんなびしょびしょ大笑い

夢の国蒸し暑さの中待ち時間

湯本中学校 三年 立花 和也

さわやかな笑顔の接客TDL
 分け入っても分け入っても人の海
 夢の国冷風求める待ち時間
 夏祭り人があふれる屋台村
 お台場の星より輝く街灯り
 見上げると友の声響く炎天下
 夏祭りいつのまにやら月光る
 東京のせみの鳴き声聞こえない
 神輿後僕を呼んでるマスカット
 夏の夜光がまぶしい首都の街
 にぎやかな祭りの夜がすぐそこに
 少しだけ現実逃避夢の国
 たくさん神輿が通る大通り
 暑い日に人混み分けて浅草へ
 夏の日に冷房つけてアニメ見る
 鯉下る夏の暑い日颯爽と
 家中が甲子園の熱気かな
 稲を刈る父を横目にイナゴとる
 ヒマワリにそっぽを向かれた明日
 みちばたにもみじがひらり秋の風
 夏終わり儂く地面に散る火花
 夏祭り父の背中で見えぬ景色

湯本中学校	三年	田沼 瑛太
湯本中学校	三年	田沼 瑛太
湯本中学校	三年	富手 心陽
湯本中学校	三年	富手 心陽
湯本中学校	三年	富手 心陽
湯本中学校	三年	古館 煌希
湯本中学校	三年	古館 煌希
湯本中学校	三年	本館 龍樹
湯本中学校	三年	本館 龍樹
湯本中学校	三年	八重樫実来
湯本中学校	三年	八重樫実来
湯本中学校	三年	八重樫実来
湯本中学校	三年	山谷 凛
湯本中学校	三年	山谷 凛
湯本中学校	三年	阿部 太一
大迫中学校	三年	伊藤 聡汰
大迫中学校	三年	鎌田 一愛
大迫中学校	三年	桐田 航輝
大迫中学校	三年	桐田 航輝
大迫中学校	三年	佐藤 逢夢
大迫中学校	三年	佐藤 爽
大迫中学校	三年	佐藤 花舞

夏の夜照る星達よ恒々と
年越しは犬も冬眠春を待つ
夕日のした母子に見られ泳ぐ鯉
海日和金剛のごとくキラキラと
大好物練乳つけて苺狩り

大迫中学校	三年	高橋	匠
大迫中学校	三年	高橋	美花
大迫中学校	三年	山田	香穂
大迫中学校	三年	吉田	優良
大迫中学校	三年	若柳	由佳

令和六年度花巻市民芸術祭第十八回文芸大会

「川柳」

中学生の部

あべ 和香 選

宿題「月」

特選

どんな日も僕らを見てるお月様

西南中学校 三年 浅沼 天

秀逸

君と月気づけばいつもそばにいる

西南中学校 三年 伊藤 真桜

佳作

十五夜のお団子かくれて口の中
ぼくのゆめはるかとおくの月に行く
皆見てる今も昔も同じ月

湯口中学校 三年 佐々木彩花
西南中学校 一年 八重樫胡桃
西南中学校 三年 堀岡 咲紀

藤川 忠巳 選

宿題「話」

特選

何気ない会話一つで笑いあう

西南中学校 三年 菊池 愛依

秀逸

話し合いみんなの仲が深まる日

佳作

話し合い笑い合うのもあと少し
けんかして少したてばまた会話
家族との思い出話なつかしむ

参加作品 中学生の部

「月(つき)」

月あかりタヌキといつしよにすすきとり

月明かり私を照らす遠い星

あの人のように輝くお月様

夜の月外で一番の主人公

お月見に団子とススキ最高だ

月みたく夜になるとね元氣だよ

まつくらな空を見上げるひかる月

七夕の星空に映える月光り

明るさと温かさのある月光り

お月様キレイな姿いつまでも

西南中学校 一年 佐藤 碧衣

西南中学校 三年 藤原 朱理

西南中学校 三年 藤原 彩花

西南中学校 三年 照井 日菜

湯口中学校 三年 佐々木彩花

西南中学校 一年 阿部 優心

西南中学校 一年 阿部 優心

西南中学校 一年 佐藤 碧衣

西南中学校 一年 高橋 琉華

西南中学校 一年 高橋 琉華

西南中学校 一年 高橋 夢良

西南中学校 一年 寺澤 泰智

西南中学校 一年 寺澤 泰智

西南中学校 一年 大和 走心

黒一色月見のてしや夏に且き

西南中學校 三手 菊也 愛衣

月と太陽真反対の君とわたし
 太陽と違い見えるは月明かり
 雲があげ月の光が照らす町
 風鈴の音と輝く夏の月
 月が綺麗君の歌声響く夜
 満月が空にうかびみなみあげる
 月光り個性とともに輝きだす
 ふと見たら今日は満月きれいだな
 月が出る冬の夜には光る道
 昼も夜も月は見ている私達を
 暗くなり辺りを照らす月灯り
 月と星ライトみたいに照らしてる
 雲の間に黄色く光る月明かり
 暗い夜月の光が眩しいな
 夜の海月と重なり光来る
 夜の月うさが輝く空の上

「話（はなし）」
 耳すますどんな話か声はずむ
 声はずむみんな笑顔に話し合い

西南中学校	三年	八重樫愛弓
西南中学校	三年	藤原 颯
西南中学校	三年	照井 蒼大
西南中学校	三年	藤原 彩花
西南中学校	三年	藤原 彩花
西南中学校	三年	安藤 梨来
西南中学校	三年	安藤 梨来
西南中学校	三年	小原 暁
西南中学校	三年	伊藤 真桜
西南中学校	三年	高橋 璃空
西南中学校	三年	照井 日菜
西南中学校	三年	根子 愛梨
西南中学校	三年	阿部 愛佳
西南中学校	三年	高橋 颯良
西南中学校	三年	菊池 元慈
西南中学校	三年	泉澤 琉生

西南中学校	一年	阿部 優心
西南中学校	一年	阿部 優心

令和六年度花巻市民芸術祭第十八回文芸大会

「詩」

中学生の部

奨励賞

照井 良平 選

牛崎 敏哉 選

土

大迫中学校 一年 阿部 圭吾

全ては土から始まる

木は土なしでは根をはれない

家も土なしでは立てれない

学校も土なしでは立てれない

土器も土なしではできない

野菜も土なしでは作れない

果物も土なしでは作れない

陸も土なしではできない

亡くなった命も土なしでは帰る場所がない

自分も土なしでは生きられない

天が与えてくれた土に感謝して

天が与えてくれた土を大切にしてい

ぼくは明日も生きていく

全ては土から始まる

支え合い

湯本中学校 一年 伊藤 愛華

みんなの先頭に立ち

表でみんなを支えているあの子のように

ときには表、ときには裏で

上手にみんなを支えているあの子のように

みんなが見ていなくても

一番みんなを支えているあの子のように

私がこの全部をできたらいい

でも実際はその夢はかなわない

だからこそ、それぞれが得意な「みんなの支え方」で

今日も仲間と協力して楽しい日をつくっていきたい

蜘蛛

大迫中学校 一年 丸田 和

そこにじつという 死んでいるかのようね
獲物がかかるのを待っているのよ
目立たないように生きてるの
まるでスパイね
スパイダーだもの

そこにじつという 獲物なんて来るの？
いつか来るのを待っているのよ
騙される馬鹿もいるの

まるで置物ね

私はこのままでもいいよ

そこにずっといた ずっとずっと

「いつからいたの？」

「ずっといたよ」

新しい第一歩

西南中学校 三年 澤田 佳音

新しい第一歩
それは不安ですか
楽しみですか

新しい第一歩
あなたの第一歩は
なんですか

不安の色で色づく壁を
こわせたらいいな
私はそう思います

新しい第一歩

一人だとしても
誰かと一緒でも

きつと意味があります

新しい第一歩

あなたの未来に

花咲きます

新しい第一歩

はちわれねこ

花巻中学校 一年 成田 姫星

ニヤー

毎朝起こしにくる

甘えてきて

ゴロゴロと

もふもふの君は

外が嫌いだ

まぬけな君は

あくびをしながら

びよーんとのびる

今日も人の服を

盗んでくる

高級な物しか食べない

わがままな君は

我が家の姫

黒と白のはちわれ

ねこだ

夜

湯本中学校 一年 長澤 絆吏

太陽が僕達の上からいなくなる

まるで、下校したようにいなくなる

そしてフクロウ達が活動を始める

夜が始まると町が光る

ホテル達も光る町の明かりのように

そしてまた太陽がのぼり月がしずむ

また月がのぼり太陽がしずむ時

祭りばやしがきこえてくる

月がなんだなんだと見てみると

人間達が楽しそうだ

神もやしをぬけだすように祭りを見にくる

月も見守る

時が過ぎおひらきとなると

月がまたしずみ太陽とバトンタッチ

夜は人がねむりにつく時間である
また太陽がのぼり月がしずむ
そしてまた月がのぼり太陽がしずむ
そのくりかえしだ
のぼるしずむ
のぼるしずむ

ゆうれい

湯本中学校 一年 高木 龍之介

僕は幽霊が見える
みんながみんな怖いものではない
ただ公園で僕らのように
遊んでいるだけかもしれない
たださ迷っているだけかもしれない
ただ大切な人に「ありがとう」と
言いたいのもかもしれない
幽霊にも 心はある
心があるから 僕には見えている

ぼくはゆうれい
けつこうまえにじこでなくなった
おどろかすつもりはないのに
こわがるひともいる
みんながみんな
こわくてわるいのではない
ぼくたちにも ころはある
ころがあるから
いまもこうやってうごいている

辛いときには

湯本中学校 一年 檜山 愛衣莉

辛いとき今の自分と重なり合う歌を聞いてみて？
きつと共感できる歌が見つかるから
その歌で泣いているあなたへ
きつとだれにも気持ちが言えず
ためこみすぎているんだよね
本当の気持ちをいうのは難しいし、怖いよね
でも、自分のペースでほんの少しでも言おうとしてみて？

きつとだれかに気づいてもらえる

無理をしないと生きていけない世界

気づいてもらえた時一言でも一文でも言ってみよう
ほんの少し心が楽になった気がするから

あせらなくてもいい

時間がかかってもいい

その人はきつとあなたの話を

何時間でも

聞いてくれるよ

無理をしないと生きていけない世界

でも無理のしすぎには気を付けて

参加作品 中学生の部

水

西南中学校 一年 小原 啓吾

今日もぼくは生きている。

水道を通ってみんなの役に立っている。

朝から晩までこの世界みんなが

笑顔でいられるように

ぼくは毎日働いている。

幸せに暮らせるように。

ブロッコリー

西南中学校 一年 藤田 彩莉

ブロッコリー

さり

すくすく育つブロッコリー

こりこりしてるブロッコリー

マヨで食べるブロッコリー

塩で食べるブロッコリー

緑なブロッコリー

ゲーム

西南中学校 一年 高橋 伊織

ぼくはゲームが好きだ
ずつとずつとゲームをしている
でもそうするといろいろなことを知ることが
できない

ゲームは楽しいがそのかわりみのまわりの
美しいけしきやほんとうに楽しいと思うことを
見おとしてしまう

ゲームをするのは悪いことではないしかし
やりすぎるのもよくない
ほどほどにやるのが大切だ

ねる

西南中学校 一年 照井 莉心

ねて起きて

楽しい一日を過ごそう

みんなとはちがうけれど

西南中学校 一年 照井 雄大

あたたかい日が照りつける
新しい僕の一日が始まるとき
また今日が始まった
負に思ってしまう僕がいる

冷たい風が吹きつける
繰り返す毎日が始まるとき
明るく今日が始まる
楽しく思う私がいる

みんなとはちがうけれど
ちがう誰かが側にいてくれる

いこう

いつもの自分のままに

あらたな世界

西南中学校 一年 小原 峻雅

苦しいことにたえ
困難にもたちむかい
たくさんの努力で
あらたな世界が広がる
まだ見たことない世界

ねこ

西南中学校 一年 八重樫 胡桃

ねこ くるみ

ねむい
ねむいな
いつまでもねていたい
あさからばんまでねていたい
きょうもぼくは
ひなたにねころがる

出会う

西南中学校 一年 照井 彩笑

私は犬
今日は誰と 出会うかな
出会って どんなことを 話そうかな
今日も 人と 出会う
明日も 「ワンワン」 ほえる
言葉に出会う

ぼくのあいけん

西南中学校 一年 八重樫 蓮

ぼくのあいけんはいつもぼくについてくる
いろんなところでもついてくる
あいけん れん

夏がまちどうしいひまわり

西南中学校 一年 大和 走心

まだつちのなか

夏がまちどうしい

夏になればにんきもの

太陽の光をあびて

すすくせいちようする

まるでうりふたつ

背も高くなり

植物界のライオンのようにだ

さあはやく夏よこい

あさになると

西南中学校 一年 高橋 夢良

みーあきやと ゆら

ぼくは

あさになると

おなかをひにむける

よるにひえたおなかをあたためるために

ともだちといっしょに

ひをあびる

きもちいな

ぼくはとんぼ

西南中学校 一年 藤原 未糸

とんぼ みひろ

ぼくはいつもとんでいる。

とんぼのように。

桜が咲くまで

西南中学校 一年 佐藤 碧衣

日の光りをたくさん

浴びて

つぼみからだんだんと

花になり

花びらが

とんでいく

風に揺られてどこまでも

とんでいこう

明日

たくさんさんの「世界の景色」を

見るために

早起き

西南中学校 一年 高橋 叶大

早くおきてハッピーな一日を

きつねの変化

西南中学校 一年 及川 明星

今は冬だ

きつねは冬になると

もふもふに見える

夏になると

何も食べていないかのように

ガリガリに見える

友だち

西南中学校 一年 阿部 優心

約束

裏切り

ケンカ

仲直り

助け合い

くり返す

またあの友達と

はたらくあり

西南中学校 一年 高橋 新大

ぼくは、はたらく

今日もはたらく

あしたもはたらく

雨がふっても

毎日のはたらく

休んでいるひまはないからさ

いつもだれかが

はたらいている

わたしはあり

西南中学校 一年 照井 優斗

あり ゆうと

わたしははたらく
まいにちはたらく
やすまzungoいて
いつでもはたらく

わたしははたらく
きようもはたらく
えさをさがして
まちじゆうを

シロツメクサ

西南中学校 一年 伊藤 綾音

わたしは まいにち
陽に てらされている
わたしは みどりの葉と
白いはなといつしよに

くらしている

わたしは まいにち

そよかぜに ふかれている

つよいかぜでも

つよいあめでも

つよいあらしでも

みどりの葉といつしよにいれば

へつちやらさ

海

西南中学校 一年 寺澤 泰智

くじら たいち

うみは、きれいだよ

うみは、あおいよ

うみは、ひろいよ

でも、うみはふかいよ

うみはくらいよ

でもふかいうみも

すてきだよ

ぽつんとおおきく

西南中学校 一年 高橋 琉華

たいじゅるか

さびしくぽつんとたっている

たっている

だけとおおきく

たっている

音

西南中学校 一年 高橋 佳歩

セミが

風鈴が

カエルが

せんぷうきが

みんな みんな

自分だけの

音を奏でる

ようこそ

夏の演奏会へ

ぼくのちじょう

西南中学校 一年 菊池 凜々

いぬ りり

ぼくはあさおきたら

かならず ごはんをたべる

ごはんをたべたら

だいすきなさんぽに行く

たくさんはしって

たくさんあそぶ

ぼくのいちにちは

いつもおなじ

おようごうよ

西南中学校 一年 照井 颯吾

かめ そうご

のんびり のんびり

ひろい うみで

おようよ

うみのもりを

おようよ

ながい ながい

この もりも

もう おわつちやうよ

また あしたね

おれはありんこ

西南中学校 一年 柴田 銀丸

アント 銀丸

おれは はたらく

いつも はたらく

じょうおおの しじで

いつもはたらく

さくらいろ

西南中学校 一年 浅沼 和

さくら かず

ぜんしんで

ひかりをあびながら

ゆめみているよ

いろずくひを

ぜんしんで

ひかりをあびながら

かがやいてるよ

さくらいろ

あしたこそは・・・

西南中学校 一年 平賀 幸太郎

平賀 クマ

ぼくはたまに目の前にする

晴れ上がった空の下で

一緒に過ぎる時間

ぼくはこの時が嫌いだ

だから、だから、

森の中で共にいたい

でもいかなければならないんだ

ぼくはいつも願っている

おびえないでいられる時間を

明日

西南中学校 一年 小原 沙良

夜が好き

朝になると

また

友達に会えるから

なつがきた

西南中学校 一年 伊藤 唯斗

せみがなく

とんぼがとぶ

かぶとむしがいる

いろんな虫がでてきたよ

タンポポ

西南中学校 一年 小河原 一樹

タンポポは

ムクムク

育ち

ー太陽みたいだ

夏

西南中学校 一年 高橋 佑旺

梅雨が終わり、夏の本番が始まった

せみの泣き声がいろんな方向から聞こえる

ところが、一日中暑く、まるで砂漠のようだ

暑さが年々増しているような気がする

そんな夏だけど、一番楽しみなのは夏休みだ

クローバー

西南中学校 一年 井上 葵生

わたしはおなじなかまと

いつしよにくらしている

でもたまに一人ちがう

なかまがいる

ちがうなかまをみつけたものは

いいことがおきるといふ

うわさがある

ぼくはおなじなかまと

いつしよにくらしている

ぼくはちがうなかまを

みつけた

ぼくもぼくのまわりも

いいことがおきた

部活

湯本中学校 一年 伊藤 燦里

ほぼ毎日ある部活

つかれるし、大変だから

休みたい でも

練習しないと上手にはなれない

今日はお休み
何をしようか

この時間

いつもなら部活をしている
なんだかさみしい気持ち
がわいてくる

みんなで部活をしている時間

私にとって大切な時間

大事にしよう

陸上記録会

湯本中学校 一年 伊藤 環

私は走る ゴールに向かって

人にもまれて転ばぬように

私は走る つかれていても

楽しかった思い出になるから

競技場に響く色々な音

背中を押すのはみんなの声援

みんながだれを応援してるか

分からないけれどそれでもうれしい

緊張気味の私のころ

プリント

湯本中学校 一年 上田 莉央

えんぴつで文字を書かれる

あーくすぐつたい

消しゴムで文字を消される

あー気持ちいい

と、思っていたのに

ぐえっ！

「あつ破けちゃった！どうしよう……」

うわーん 痛いよー！

もうつかえない

ただの紙

でも

この子は大事に最後まで

すきまびつしりに絵を描いて

つかってくれた

あー幸せだ

ゲーム

湯本中学校 一年 遠藤 駿

ゲーム、それはみんなの娯楽

ゲーム、それはみんなのごほうび

コンピューターだけじゃない それがゲーム

遊ぶこと だけじゃない それがゲーム

ゲームは 好きだから ずっと 楽しい

遊ぶ こと

体を動かすこと

勉強をすること

ぜんぶ ゲーム

昔からの遊びの知恵

それが

ゲーム

青ペン

湯本中学校 一年 鎌田 明真

僕はいつも赤ペンと一緒に

勉強の時になると

筆箱から出してもらえないけど

ほとんど使ってもらえない僕

僕はいつも赤ペンと一緒に

苦手な問題とにらめっこしているときは

僕を使ってくれる

解き方を教えてあげよう

その時が一番うれしい

感謝

湯本中学校 一年 川村 夢蔵

どんなスポーツでも

感謝が大切だ

ふつうのことだが

忘れることもある

なぜならプレーに集中しているから

集中していると自然と忘れてしまう

しかし集中していても忘れてはいけない

セミと人

湯本中学校 一年 菊池 陽光

僕はいつも鳴いている

七日間の命を大事に過ごして

今日もひたすら鳴いている

みんなに気付いてもらうために

私はいつも働いている

一週間の仕事を終わらせるため

今日もひたすら働いている

みんなにみとめてもらうために

海

湯本中学校 一年 菊池 雄大

海はいろいろな所につながっている

もし、物が海に落ちたら、地球を一周して

落ちた所にもどってくるかもしれない

でもどこにいくかもわからない

海って不思議だ

海には、いろいろな生き物がいる

浅い所にいる生き物

深い所にいる生き物

でもなんの生き物がいるかはわからない

海って不思議だ

水

湯本中学校 一年 小田島 命尊

空から陸へ そしてまた 空から陸へいく

水のように

僕のやる気も

ずっと続けばいいのに

おだやかに流れたり 激しく流れたりする

水のように

僕の感情も

場面によつて 変えられればいいのに

形も 陸につく時間もさまざまな

水のように

僕も 僕らしさを

大切にしていきたい

低音楽器

湯本中学校 一年 佐々木 詩花

低音楽器は

恥ずかしがり屋

表になかなか出てこない

低音楽器は

恥ずかしがり屋

でも

裏で一生懸命支えてる

ステージ

湯本中学校 一年 佐々木 菜羽

初めて多くの人の前に立った

手がふるえ

心臓が速くなる

スポットライトがまぶしい

先生と目があつた
私は大きく息を吸う
さあ 本番だ

一本の道

湯本中学校 一年 菅原 楓乃

道はみんなが使つていて
みんなを目的地まで導いてくれる
私たちが今ここにいるのは
一本の道のおかげ

道は周りの形に合わせて
みんなのために造られている
私たちも道のように
周りに合わせて話をする

トンネルは周りに合わせない
山をつらぬきまっすぐに進んでいく

私たちは道のようにトンネルのように
明日への道を進んでいく

エアコンの家族

湯本中学校 一年 菅原 暖人

僕はエアコン
冷たい空気 暖かい空気を送っている
ぼくにホコリがたまったらすぐにきれいにして
くれる

しかしさびしいことがある それは
「カゾク」がいないことだ
ぼくがはたらくと「ニンゲン」は喜ぶ

みんなぼくにありがとうと言ってくれる
すごくそれが好きでぼくは毎日ががんばっている
この「人間」をトモダチだと思つていたけど
それ以上の

僕の大切な

「家族」なのかもしれない

ラケット

湯本中学校 一年 瀬川 真次郎

ぼくは、握られる。

僕は、ボールに当たる。

ぼくは、振られる。

ぼくは、バックに入っている。

ぼくは、大事にされている。

色々なことがあるけれど、

それはぼくの大切な思い出。

いつかは、離れてしまうかもしれない。

新しい持ち主の所へ行くかもしれない。

けれど、絶対に思い出は忘れない。

ふきのとうと僕

湯本中学校 一年 高橋 一輝

あたたかい土の中から芽を出すふきのとう

朝、寝ていたふとんから起きる僕

おいしい日光とお水を飲んでいるふきのとう

朝ごはんを食べて元気いっぱい僕

なんだかふきのとうって、僕に似ているね

時計

湯本中学校 一年 高橋 琴子

私はいつも見られています

時間を知りたいときにみんなが私を見てくれます

みんなが生活している姿を見るのが楽しいです

見つめられると、少しはずかしいです

私はいつも動いています

三つの針を動かし続けたり
数字をずっと変え続けたり
とても疲れるけど楽しいです

バリトンサックス

湯本中学校 一年 高橋 桃花

僕はバリトンサックス

みんなからバリサクって呼ばれている

最近僕を吹く人が変わった

でもその子は音が暴発的なんだ

僕は落ちついた低音が魅力的なのに

僕はバリトンサックス

最近僕を吹く人が変わった

もともとバスクラリネットを吹いていたらしい

吹き方が全然ちがうから大変だといっていた

そんなことはいいいからはやくきれいな音で僕をふいてほしい

そう思いながら僕は楽器ケースの中で目を閉じた

私は吹奏楽部の部員だ

最近吹く楽器が変わったバリトンサックスというらしい

前のバスクラリネットと吹き方が全然違っていた

大変だがとてもやりがいがある

何より楽しい

上手になりたい

たくさん練習してきれいな音を響かせるから

そのときまで見守ってね

バリトンサックス

ボール

湯本中学校 一年 照井 惺海

僕はいつも打たれる。

練習時間がくるといつも皆が僕を打つ。

よく飛ばされることもある。

それでも皆が強くなってきたことは知っているよ。

これからもよろしくね。

僕はよくネットに引っかけられる。

時には地面にたたきつけられる。

それでも練習の後には皆僕を丁寧に教えてくれる。

これからも優しくしてね。

消しゴム

湯本中学校 一年 富永 大翔

僕はよく机の上にあります

授業が始まると

僕は筆箱から出ます

教室にいるみんなが

勉強しているのをみている時が

一番うれしいです

僕はよくえんぴつといつしよにいます

えんぴつがまちがった漢字を

僕が消します

漢字を消している時が

一番がんばっています

嫌いなあのコ

湯本中学校 一年 西村 そら

あのコの声も

あのコの行動も

全部嫌い

だけどあのコは今日も話しかけてくる

嫌な態度をとつちやう私

本当は話しかけてくれるのが

うれしいくせに

素直になれない私の心

あのコの声も

あのコの行動も

全部嫌いじゃない

明日は素直な自分であれますように

スパイクシューズ

湯本中学校 一年 箱崎 央芽

今日は800m

1週目400m

ごきげんだ

2週目400m

だんだんペースがおちてくる

ラストスパート力をふりしぼる

中は摩擦であつくなる

幸せな世界

湯本中学校 一年 藤根 旭

家族はいつも

私に愛情をくれる

友達はいつも

私に笑顔をくれる

先生はいつも

私に知識をくれる

誰かがいつも

私に幸せをくれる

私もいつか

誰かに幸せをあげたい

野球ボール

湯本中学校 一年 藤原 歩生

みんな僕を使う

壁に当てたり

バットで打ったり

少し痛いけれど

僕を使つて

みんなが楽しく野球できるなら

僕はそれでいい

お母さん・お父さん

湯本中学校 一年 古館 玲奈

いつも仕事をおそくまでやるお母さん・お父さん

帰つてからも料理・洗たくで大変なお母さん・お父さん

私たちがケンカをして時に止めるお母さん・お父さん

何かで困つていたら、いっしょに考えてくれるお母さん

お父さん

いつも優しく接してくれて、怒る時は怒ってくれるお

さん・お父さん

反抗した時にどならないで優しく接してくれるお母さん

お父さん

自分も大人になったらお母さん・お父さんみたいになりたいな

笑顔

湯本中学校 一年 山影 煌宗

ぼくはいつも笑っている

なぜなら、ぼくが笑つたら

みんなが笑顔になるから

ぼくはいつもおもしろいことをする

なぜなら、ぼくがおもしろいことをすると

みんなが笑顔になるから

ぼくはいつも友達のおそばにいる

なぜなら、ぼくが友達のおそばにいと

友達が笑顔になるから

笑顔とは、ぼくたちにとって

かけがえのない存在である

僕の相ぼう

湯本中学校 一年 吉田 楓琉

グローブは僕の相ぼう

相ぼうは色々な種類がある

でも僕の相ぼうは一つだけ

相ぼうとする野球は楽しい

相ぼうはきれいにしておかないとおこります

そしてボールを落とします

でも僕は

そんな相ぼうが好きです

勉強は人生で最初の仕事

大迫中学校 一年 浅沼 宏明

勉強が苦手な人が多いと思う、でも勉強をしないわけ
いらない。

ぼくはこう考えた「勉強は人生の最初の仕事」だと田
勉強をがんばりたい。

楽器

大迫中学校 一年 伊藤 永太

みんなそれぞれちがう音が出る

高かったり、低かったりして

まるで僕たちの声みたいだ

音の出し方もみんなちがう

のびしたり、おしたり、指を動かしたり

そこも本当に僕たちみたいだ

そしてみんながきれいな音を出せる

個性があつて僕たちみたいに

かがやいている

なみだ

大迫中学校 一年 伊藤 奏

人のなみだには たくさんの色がある

あお色のなみだ

それは たくさんの悲しさや悔しさがつまった色だから

びんく色のなみだ

それは たくさんの嬉しさや幸せがつまった色だか
無色のなみだ

それは とつても透明・・・

たくさんの色がある
だからなみだの色は決まっていらない

つかれた

大迫中学校 一年 内村 駿太

つかれた。

もう何もしたくない

でもよく考えてみると、つかれているのは

ぼくだけじゃないかもしれない、

そう思うともつとがんばらなきゃと思う。

一番大切なものは・・・

大迫中学校 一年 梅津 結愛

私は思った

一番大切なものとはなにか

ともだち ともだちがいないと さびしい

かぞく かぞくといたら たのしい

ひとり ひとりぼっち ひとり は さびしい

私は思った

一番大切なものは

一つじゃなくてもいいことに

平日の誕生日

大迫中学校 一年 梅村 加衣

今年の誕生日は平日で

いつもと変わらない生活をしている自分

なにもないと思っていた。つまらなかつた。

誕生日なんて年をとるだけだと

思っていた。

今年の誕生日は平日で

いつもと何も変わらないと思っていた。
でもなんか・・・

自分の胸がドキドキした
学校に行くと友達が

「おめでとう」と明るく言ってくれた
嬉しかった。

私の胸には、嬉しさと感謝の気持ちで
いっぱいだった。

私は心が飛びでるほど嬉しかった
誕生日が大好きになった

サンタクロース

大迫中学校 一年 岡本 ひなた

ある冬の夜

赤い服を着たおじいさんは

大きな袋をせおって

みんなに「愛」をくばっている

一日だけの大仕事

みんなはぐっすり夢の中

トナカイは

赤い鼻を光らせて

せつせつせつと走っていく

れんしゅう

大迫中学校 一年 菊池 采花

がんばろう

部活の練習を

がんばろう

今、走っている、この時を

次は負けないために

また次の大会に負けないために

部活の練習を

がんばろう

太陽と月と

大迫中学校 一年 佐藤 志美嘉

太陽っていいな

だれにも出せない 光をもっていて

月っていいな

太陽にも真似できない 形をつくれて

太陽っていいな

夜は居場所をとられちゃうくせに

そんなにかがやけて

月っていいな

光をもらっているだけなのに

そんなにかがやけて

けれど 私は

太陽にも月にもない

個性をもっている

友達

大迫中学校 一年 佐藤 妃夏

登校した時は「おはよう」の声

困っている時は「大丈夫」の声

一人でいる時は「遊ぼう」の声

私にとって友達は

元氣と勇氣をくれる

大切な存在

私にとって友達は

自分の良さに気づかせてくれる

大切な存在

こんな友達をいつまでも

大切にしていきたい

教室から見える景色

大迫中学校 一年 佐藤 來雄

教室から見える

景色は最高だ

緑がいつぱいの

山に囲まれて

青い空に見守られ

風が窓の間から

ふきぬけて

自然豊かな

町に囲まれ

毎日が

とっても楽しく

とっても気持ちいい

ポテト

大迫中学校 一年 高橋 令征

ぼくはじやがいも

いつも土の中にうまっている

ぼくはいろいろなりょうりになる

たとえば・・・

肉じやが、ポテトサラダ、コロッケ、

みそしる、ポテチ・・・

ぼくもいつかこんなりょうりになるのかな

野球ボール

大迫中学校 一年 藤原 歩斗

ぼくたちは、いつも打たれたり、

投げられたりしてる。

いつも痛すぎる。

からぶりしたら、

ラッキーだ。

でも、ホームランボールになったら最高だ。

タコ

大迫中学校 一年 峯村 亮汰

いつもは壺の中や岩のすきまにいるんだ

そしてみつけたエビやカニ、魚だつてたべる

ウツボとかドチザメにおそわれたりもする

でもそんなときはスミをはくんだ

自然で俺をみつけるのはむしろかしい
岩に擬態してるからだ

浅瀬にきたり

岩場にきたり

深いところまでもいくんだ

そうして俺の一日は終わる

バレーボール

大迫中学校 一年 柳田 優太

飛ぶ、打つ、繋ぐ、一連の動作から生まれる

「一点」その一点のため練習する

その一点をとるためのラリーをする

そのラリーの数秒間の中で様々な感情が飛びかう、

その緊張感や高揚

全てが「心地よい」

やっぱりバレーボール好きだな

動く

花巻中学校 一年 鈴木 孔三朗

ある日空が晴れていて

雲はやる気がでてなくて

だけど

世界は今も動いている

花巻中学校の

一年一組

ねていたりうるさくしている人も

今も僕らは動いてる

たとえ世界が地球がやる気がなくても

人はみんな動いている

世界は今も全てが動いている

走った

花巻中学校 一年 石ヶ森 唯斗

競技場で走った

犬のように走った

疲れた

そこら辺で走った

チーターのように走った

筋肉痛になった

砂利道で走った

猫のように走った

転んだ

校庭で走った

先生のように走った

やつぱり転んだ

地球で走った

人間のように走った

やつぱり転んだ

宇宙の大きさ

花巻中学校 一年 平賀 志貴

宇宙ってどれくらい広いのかなあ

どれくらい大きさかなあ

何個あるのかなあ

やつぱりとおいのかなあ

どういう形なのかなあ

まるかなあ しかくかなあ

ぎざぎざしているのかなあ

あじはどうかなあ おいしいのかなあ

宇宙って楽しいなあ

東京ドームよりは広いよね

空の橋

花巻中学校 一年 高橋 実永

空に橋が架かつてる

一色みえない六色の橋

うすくて消えそうなしやぼん玉のよう

空に橋が架かつてる

七色の橋

濃くて人が渡れそう

空の橋がなくなつた

部活の音

花巻中学校 一年 坂井 莉菜

体育館から

音が聞こえる

いろんな音が鳴りひびいている

コンサートのように

キュッ ドンッ パシシッ

外からも聞こえてくる

カンッ サッ ドッ

ドラムのように

いろんな音が聞こえてくる

夕日に照らされて

雲

花巻中学校 一年 細川 瑛那

晴れの日には笑つて

雨の日には泣いて

雷の日には怒る

さわれそうで

さわれない

とどきそうで

とどかない

でも、しつかりそこにあるんだ

まるで生きているように

あめっこ

花巻中学校 一年 大場 陽香

ころころ あめっこなめてたら

ぽつぽつ あめもふってきた

ザーザー

しとしと

キラキラ

どばしやー

今日は どんな きもちかな？

ぽつぽつ あらら やんできた

ぽちゃん とあたりはみずたまり

ぽちゃん

ぱしやっ

びしやっ

うわっ

どろどろ ついた服のまま

おそらは

キラキラ にじが わらってた

大好き

花巻中学校 一年 菱川 いろは

本がパラパラと物語を語っている

赤ちゃんから老人まで

みんなの手が本を語らせている

本はおしやべりが大好き

みんなおしやべりな本が大好き

私の宝物

花巻中学校 一年 下田 心優

遊んだり、学んだり、怒られたり

互いの悩みを相談しあう

いちばん仲が良くて

一緒にいて安心する

時には喧嘩をしたり

つらい日もあつたけど互いに乗り越えて

今までやってきた

私の友達

これからよろしくね

空

花巻中学校 一年 阿部 里唯那

空を見た
夜の空を
月がきれいで
星もたくさんあった
暗い夜なのに空だけ 光っていた
きらきら ちかちかと

ドラマ

花巻中学校 一年 八重樫 美都

テレビに映っている人は
笑っている
泣いている
怒っている
いろんな顔や感をもっている
まるで仮面をつけているように

魚の贅沢

花巻中学校 一年 杉村 健太

水そうにいる四匹のふぐ
この前釣った小さなふぐ
でも最近エサを食べない
話して伝えてくれたらしいのにー
ふぐはもうエサにあきたってさ

苦手な英語だけど……

花巻中学校 一年 伊藤 元信

僕の苦手な教科は英語なんだ
発音の時は楽しいけど……
書くのが苦手なんだ。
だけど……
苦手だけど……
みんながいるから、楽しいし、その時だけは、
苦手じゃなくなるんだ!!
だから頑張れるんだ。

夏といえは

花巻中学校 一年 及川 凜太郎

夏といえは海という人もいるだろう

夏といえは

すいか割りという人もいるだろう

もしかしたら山登りという人もいるかも

同じ意見の人もいれば

違う意見の人もいるかもしれない

でもそれでいいじゃないか

みんな楽しいのだから

アブラカタブラ

花巻中学校 一年 佐藤 海惺

マヨネーズはウマイウマイんだ

マヨネーズは魔法の調味料なんだ

食べたら

すぐ魔法のような味が広がる

一口食べたら

瞬時に人間をとりこにしてしまう

このアブラカタブラがマヨネーズなのさ

雪の温かみ

花巻中学校 一年 佐々木 一颯

上からふわふわとした

白い豆が着ているコートに

のつてくる

コートにのつたとき

すごく温かく感じる

でも家の中に持ち帰りたいけど

玄関前でバイバイしよう

部活のような

花巻中学校 一年 尾形 直

外周という地獄

休憩という天国

雑用という奴隷

水分補給という楽園

地獄のような部活

天国のような部活

どちらも楽しくて大好きです

親友

花巻中学校 一年 掛川 彩羽

4年間いつも4人一緒に仲が良い

一緒にいると

気が楽で

何でも言える

そんな仲

沢山喧嘩はしたけれど

その分お互い理解した

私達は磁石のように

引き寄せられた

その出会いは

運命のようだった

ねこ

花巻中学校 一年 千葉 ひかり

学校帰りによく見るあの猫

いつも道路にねそべっているあの猫

人を見ると怪物が来たような目をしてにげるあの猫

毛がモフモフのかわいいあの猫

見れたらラッキー

ぼくとボール

花巻中学校 一年 君塚 奏亀

ぼくは日焼けする
しかしボールは白のまま

まつりの日

花巻中学校 一年 上林 稟

特ににぎやかになるのは
まつりの日だ
人気の屋台には
蛇のような行列ができる
神輿を上げて盛り上げる人
それを見て楽しむ人
いろんな人達が
集まっているのが
まつりの日だ

朝・昼・晩

花巻中学校 一年 照井 志歩

ある日は こうやって生きている
晩は 星が きらめいている
果てしない星
まるで世界のようにだ

朝は 天気を 見る

天気は いろんな種類がある
毎日 色のように かわっている

昼は 自然を満喫する

自然は いろんな動物の家としている

星は 太陽は 地球は

いつも 優しく 見守っている

絵

花巻中学校 一年 千葉 雪花

一枚の紙がある
筆に絵の具をつけて
その紙に 色をつけていく
そうしたら その紙の中に
一つの世界ができる

わたあめ

花巻中学校 一年 坂本 昂

僕たちの上に広がる大空には
大きな…大きな
わたあめが浮いている
ぶかぶか ぶかぶか
手を伸ばしたら
届きそうな気がする
本当に美味しそう

ぶかぶか ぶかぶかぶか

アイデア

花巻中学校 一年 高橋 明莉

真っ白な紙に
自分が好きなものを描いていく
いろんな動物や 風景を
この真っ白な世界に描いていく
その自分らしさを大切にしたい

弟

花巻中学校 一年 田中 未音

私の家には怪獣がいる
体も心も本当に怪獣みたいに凶暴だ
声が大きいからいつもうるさい
でも怪獣もたまに人間になる
人間になると平和だからうれしくなる

だからずっと人間でいてくれたら……
と私は思う

家のスピーカー

花巻中学校 一年 菅原 優華

家には小さいスピーカーがある
小さいくせに 音は大きい
充電機をとったり ぶつかったりすると
スイッチがオフからオンになる
うるさくて うるさくて
私の中でブチッと何かが起きたとき
家のスピーカーは二つになる

ボール

花巻中学校 一年 菊池 佑來

キャッチボールで遊ぶとき、

ボールも笑っている。

わたあめみたい

花巻中学校 一年 高橋 千尋

ねこ
ふわふわしていて
ちよつぱり大きいわたあめみたい
ねこ
洗うとしぼんで すごく小さくなる
：わたあめみたい
ねこが容器に入る
あれ？ こんな所に入れるの？
こんなに大きいのに
ふわふわしていて たまに小さくなる
そして どんな所にもわたあめみたいに
入れちゃうんだ

ねこは わたあめみたいだ

桜

花巻中学校 一年 平賀 梨世

風にゆられて

花が散る

ひらひら

ひらひら

ちようちようのように

回って落ちる

7月といえば

花巻中学校 一年 松田 悠椰

サウナのような暑さの7月

梅雨に入り、雨が降る

湿度が高くなつてムシムシする

学校ではプールの授業が始まる

夏休みが近づき、ワクワクもあり、
宿題が終わるかドキドキもある
それが7月

私の家の小さな妹

花巻中学校 一年 平賀 芽吹

私の家の 小さな小さな妹は

お母さんが大好きで 私の事は下にみる

お世話をしよう ものならば

暴れて暴れて 終わる頃には傷だらけ

私の家の 小さな小さな愛犬は

お母さんが大好きで 私の事を下にみる

お世話を母が手伝うと

途端に大人しくなりお腹をごろん

私は呆れるが やっぱり愛犬は可愛いくて

許してしまう この最後

愛犬

花巻中学校 一年 菅原 優月

今 三才の愛犬は

たくさんの特徴がある

ほつぺが伸びる まるで焼きたてのおモチのようだ

散歩が好きでトコトコ歩く姿は

レッドカーペットの上を歩いているようだ

家の中ではゲージを動かす

まるでカゴに入れられた鳥のように暴れだす

でもそんな愛犬が私は大好きだ

キャンパス

花巻中学校 一年 湊 音乃

綺麗だな

アクリル絵の具の

夜の空

綺麗だな

水彩絵の具の

夕焼け空

綺麗だな

岩絵の具の

朝の空

綺麗だな

ポスターカラーの

入道雲

雨

花巻中学校 一年 林 大地

外が暗くなってきた

ザーと音がする

雨はやだな

暗いし、ジメジメするし

でも

雨があるから植物が育つ

植物があるから動物が生きられる

ほら、水たまりであめんぼが笑っている

長靴をはいた子も笑っている

雨はみんなを笑顔にする

雨があるから生きている

美術館

花巻中学校 一年 中嶋 倫子

液晶をなぞる 1本のペン

液晶に映る1つの作品

毎日美術館は更新される

年中無休で動き続ける

そして私も 自分の美術館を更新する

自分だけの美術館

それもいずれは 電子の海を泳ぐ

回転ずし

花巻中学校 一年 藤村 実梨菜

線路の上を、

新幹線が走っています。

アイスクリームをのせた新幹線が、

ぐるぐるぐると、

たくさんの方に笑顔を届けています。

ピアノ

花巻中学校 一年 高橋 日葵

鍵盤の上で

指が躍っている

自分で音を奏でながら

天気の気持ち

花巻中学校 一年 工藤 琴音

晴れている

神様が元気なのかな

気持ちがいいな

くもっている

神様は悲しい気持ちにな

なっているのかな

雨が降りそうだな

雨が降っている

神様が泣いているのかな

どんよりしているな

会話のキャッチボール

花巻中学校 一年 今 銀志

僕らの会話はキャッチボールみたいだ

話しかけたらキャッチされ かえってくる

そして

キャッチできなかつたボールのように

むこうに転がっていく

天気

花巻中学校 一年 柏田 蒼太

楽しい時は

あたたかくて

悲しい時は

つめたくて

晴れの日

笑っていて

雨の日には

泣いている

夏休み

花巻中学校 一年 川村 優頼

プールっていいよね
みんなで楽しんで
その後は、アイスを食べるんだ
夏休みっていいよね
みんなで勉強したり
花火したりしてね

学校生活

花巻中学校 一年 藤原 望

学校生活はいつか過ぎ去っていく
この生活がいつまでも続くとは限らない
おいしい給食が食べれる日々も
友達と楽しく話す日々も
いつまでも続くとは限らないのだ

友達

花巻中学校 一年 伊藤 晃大

夏がきた
友達と遊ぶ
プールで遊ぶ
楽しくて笑う
太陽のように笑う
楽しい夏だった

冬がきた

友達と遊ぶ

雪合戦をする

ふざけておこられる

お母さんのようにおこられる

ふざけた冬だった

野球

花巻中学校 一年 菊池 海星

野球選手はみんな

帽子、ユニフォームを

身に着け、

チーム一丸となり

ライオンのような勇姿で

練習や試合に取り組む。

カキーン！

猿のようなバットの高い声

グラウンド全体に

ひびきわたる。

そのしゅんかん

全ての勝敗が決まる。

勝ったチームは上へと進む。

負けたチームは悔しがり、泣きながら

その球場の土を袋に入れる。

その土は全体に忘れない。

ずっと ずっと ー

いろいろあつた部活動

花巻中学校 一年 南川 蒼

いろいろあつた部活動

これまで頑張った三年生

時には喜び

時には楽しみ

時には苦しみ

時には怒られ

そして向かえた中総体

あと一球を魂に込めて

勝敗が決まる時

たくさん声援が

会場を盛り上げる

空にとんでるものは何？

花巻中学校 一年 佐々木 双葉

放課後に空を見上げると

白いものがとんでいた

目の前におちて

見てみると

テニスボールだった

ラケットを持った女の人
こつちに走つてくる
風がふき
ボールは遠くにいつてしまつた

太陽が西へと沈むころに

花巻中学校 一年 千葉 遥馬

太陽が西へと沈むころに
笑顔を浮かべて
大きなクツシヨンのように
丸くなつて眠る
起こそうとしても
なかなか起きない
名前を呼んでも起きないサモエド
いつ起きるのかな

さかな

花巻中学校 一年 佐々木いろり

ぼく さかな
学校の小さな小さな海にいる
少し窮屈な海にいる
だけとお氣にいりのところだ

秘密の会議

花巻中学校 一年 大木 おと

犬もしやべるかもしれない
朝から夕方まで
誰もいないとき
別の犬と一緒に
秘密の会議をしているかもしれない
「ワンワン」と言いながら
話しているかもしれない
帰ってくれば元通り
なぞの敵と戦つて
勝つて、よろこび、しゃべりだす

生きてる川

花巻中学校 一年 瀬川 楓

私の帰り道の右側には川がいる
川は穏やかなときはサラサラと
悲しそうなときはちよろちよると
怒っているときはザーザーと
気まぐれな川だけど
私は
そんなあいつが大好きだ

宿題

花巻中学校 一年 萩田 陽

私の仲間たちは
つくえと
消しゴムと
シャーペン
今日もまた
仲間と共に宿題をたおしにいくぜ

祭りだ！

花巻中学校 一年 八重樫 優奈

屋台がたくさん並んでる
神輿や山車がとてうれしようにしている
ああ夏だなあ……